

## (2) 予測方法

主要な眺望点及び視点場の状況・景観資源の状況については、主要な眺望点及び視点場の状況・景観資源の状況と、事業実施区域との重ね合わせにより、場の改変の程度を予測しました。

主要な眺望景観の状況については、景観利用が図られている地点で、眺望景観に変化が生じる地点を予測の対象として選定し、予測地点からの主要な眺望景観の視覚的变化を、事業計画に基づいてフォトモンタージュ、透視図による予測画像を作成し、調査によって得られた現況における現場写真と比較することにより、変化の程度を検討しました。また、工事に伴い発生する濁り及び堆積による影響については、土砂による水の濁りの予測結果を踏まえ、眺めの状況の変化について検討を行いました。

車窓景観の状況については、幹線道路からの眺望景観に変化が生じる地点を予測の対象として選定し、予測地点からの車窓景観の視覚的变化を、フォトモンタージュによる予測画像を作成し、調査によって得られた現況における現場写真と比較することにより、変化の程度を検討しました。

## (3) 予測結果

### 1) 主要な眺望点及び視点場の状況

事業実施区域及びその周辺における主要な眺望点及び視点場は、多くの観光客に利用されるカヌチャベイホテル&ヴィラズ、カヌチャビーチや、地元の住民の方達に利用されている辺野古前上原公園、汀間漁港、ヒーピー海岸交流広場など陸域の視点場からの眺望と、平島周辺で行われているグラスボートやシュノーケル等の海洋レジャーの際に見ることのできる海上・海中からの眺望があげられます。

図-6.20.2.1.1及び図-6.20.2.1.2示すとおり、これら主要な眺望点及び視点場のうち、陸域の米軍施設外の地点については土地改変による消失はありません。陸域の米軍施設内の地点については一部（米軍施設内ビーチ）が消失しますが、現状で一般利用ができない場所となっています。また、海上からの眺望については一部が消失することとなりますが、消失する場所は、現状で一般利用ができない制限水域内がほとんどとなっています。以上のことから主要な眺望点及び視点場の状況の改変の程度は極めて小さいものと予測しました。

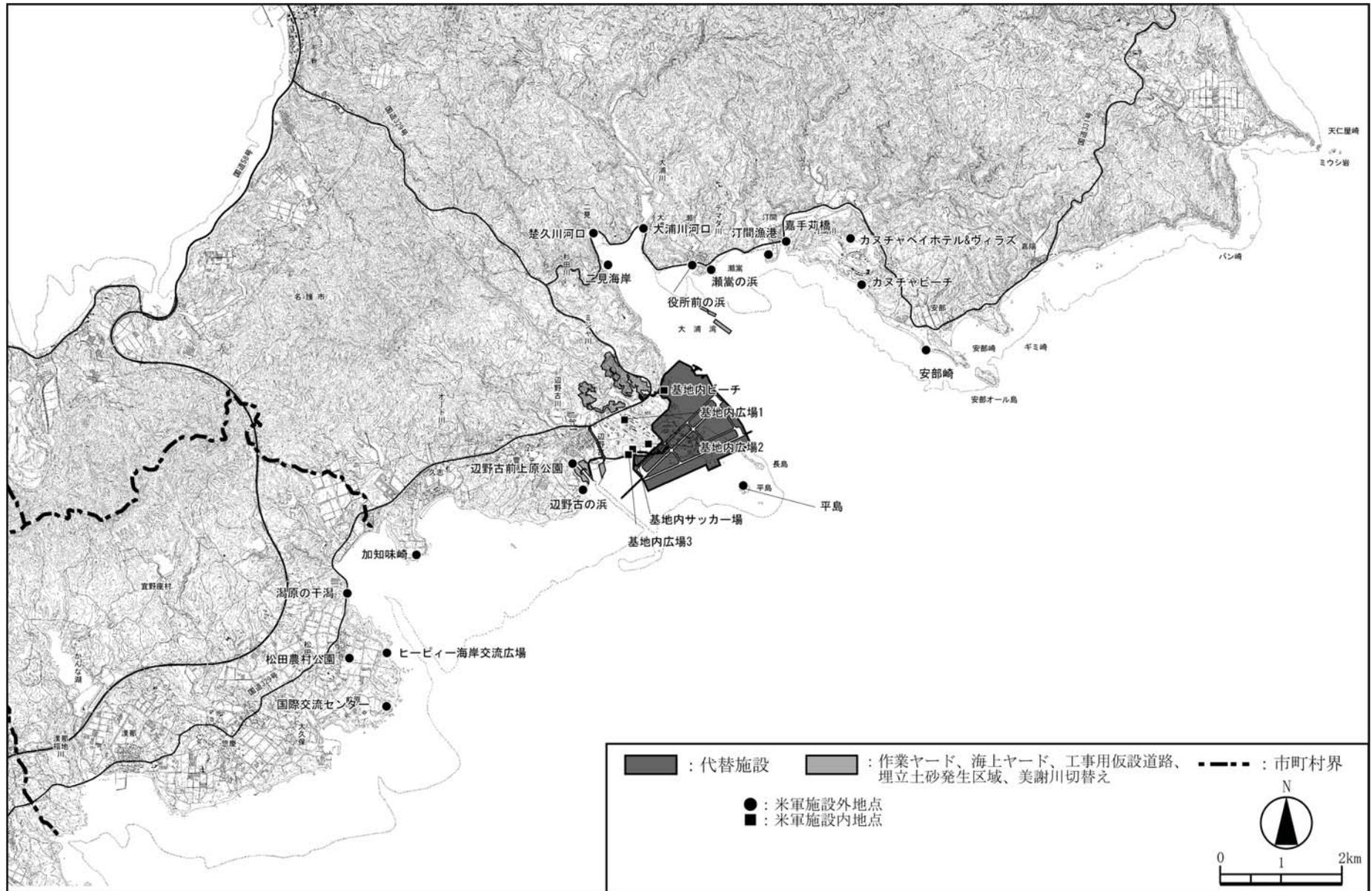


図-6.20.2.1.1 主要な眺望点及び視点場の改変の程度

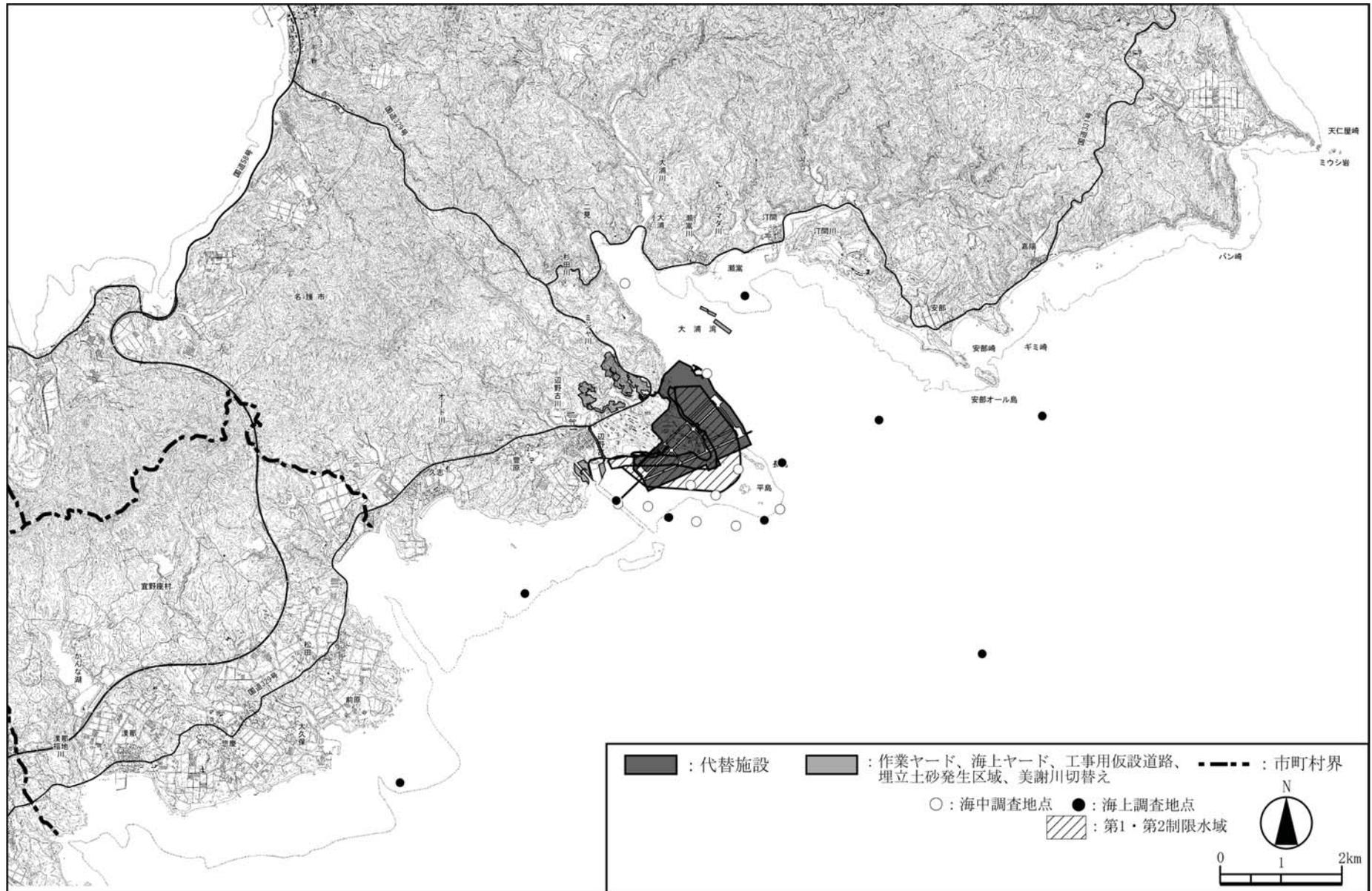


図-6.20.2.1.2 主要な眺望点及び視点場の改変の程度

## 2) 景観資源の状況

事業実施区域及びその周辺における景観資源は、山地、海成段丘、島嶼、樹木などがあげられます。これらのうち、図-6.20.2.1.3に示すとおり、工事の実施により、海成段丘の一部が改変されることとなりますが、調査範囲に分布する約4,473haの海成段丘のうち、改変される面積は62haであり、改変率は1.4%とごくわずかであることから変化の程度は極めて小さいものと予測しました。

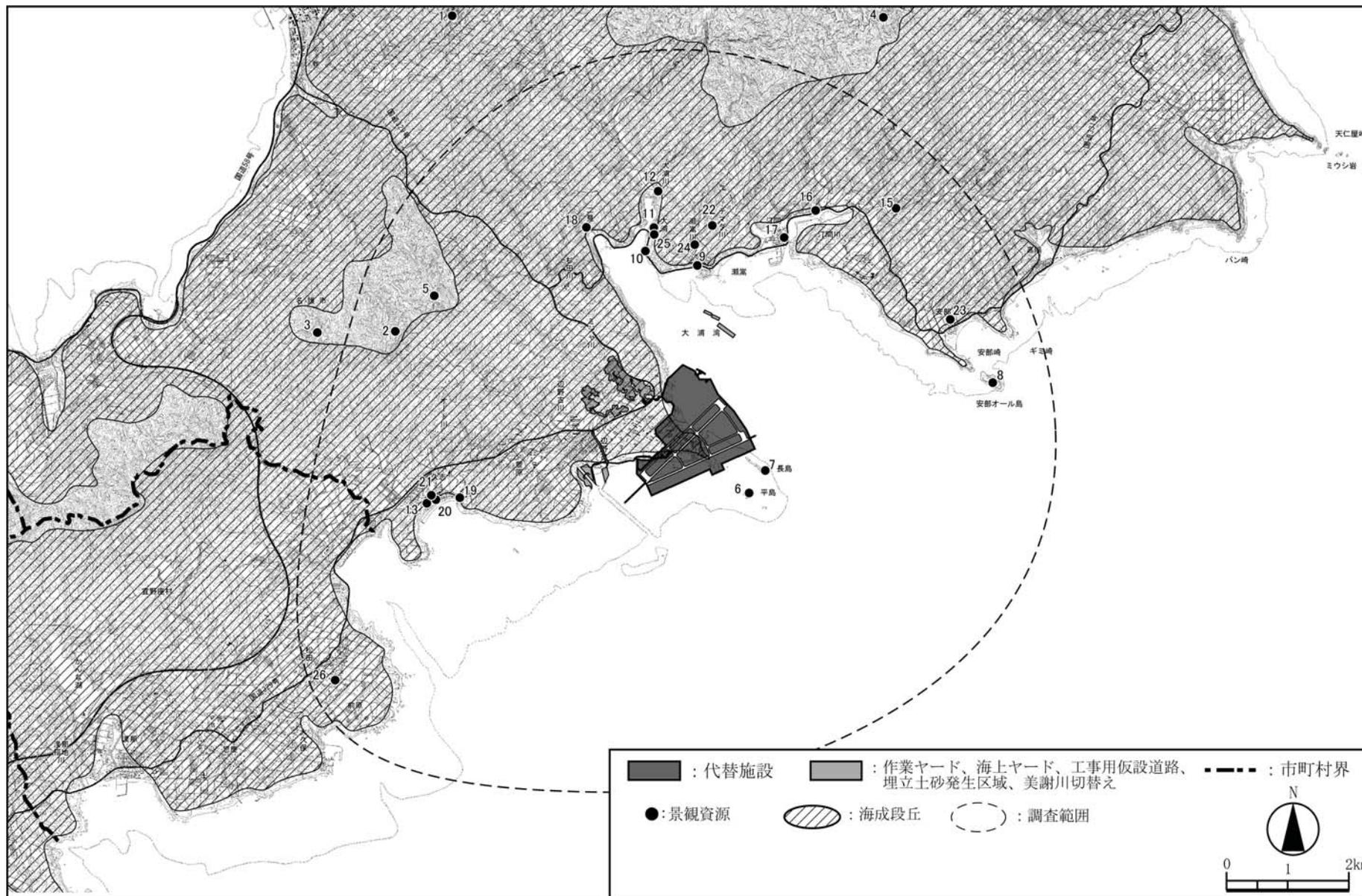


図-6.20.2.1.3 景観資源の改変の程度

### 3) 主要な眺望景観の状況

工事中における主要な眺望景観の予測にあたっては、主要な視点場として調査地点を選定した陸域の23地点のうち、辺野古地先水面作業ヤードが眺望可能な辺野古前上原公園、海上ヤードが眺望可能な汀間漁港、埋立土砂発生区域が眺望可能なカヌチャベイホテル&ヴィラズを選定しました。主要な眺望景観の予測位置を図-6.20.2.1.4に示しました。また、これらの主要な眺望景観の変化の程度を図-6.20.2.1.5～図-6.20.2.1.7に示しました。

また、工事中の水の濁りによる影響については「6.7 土砂による水の濁り」の項目において、SS 負荷量がピークとなる時期において SS が 2mg/L となる範囲は、代替施設本体南側護岸の工事では施工場所から 1～2km 沖合に拡散し、大浦湾内及び辺野古地先水面作業ヤード、辺野古リーフ上の護岸工事、海上ヤードの工事では施工場所近傍に限られると予測しました。更に、降雨時において陸上工事に伴い発生する SS が 2mg/L となる範囲は、切替え後の美謝川河口前面及び辺野古漁港東側の排水路前面、代替施設本体の雨水排水施設前面など局所的であると予測しました。以上のことから、水の濁りによる景観資源としての海域の変化は局所的で工事期間中の一時的なものであり、主要な眺望景観の変化の程度は極めて小さいものと予測しました。

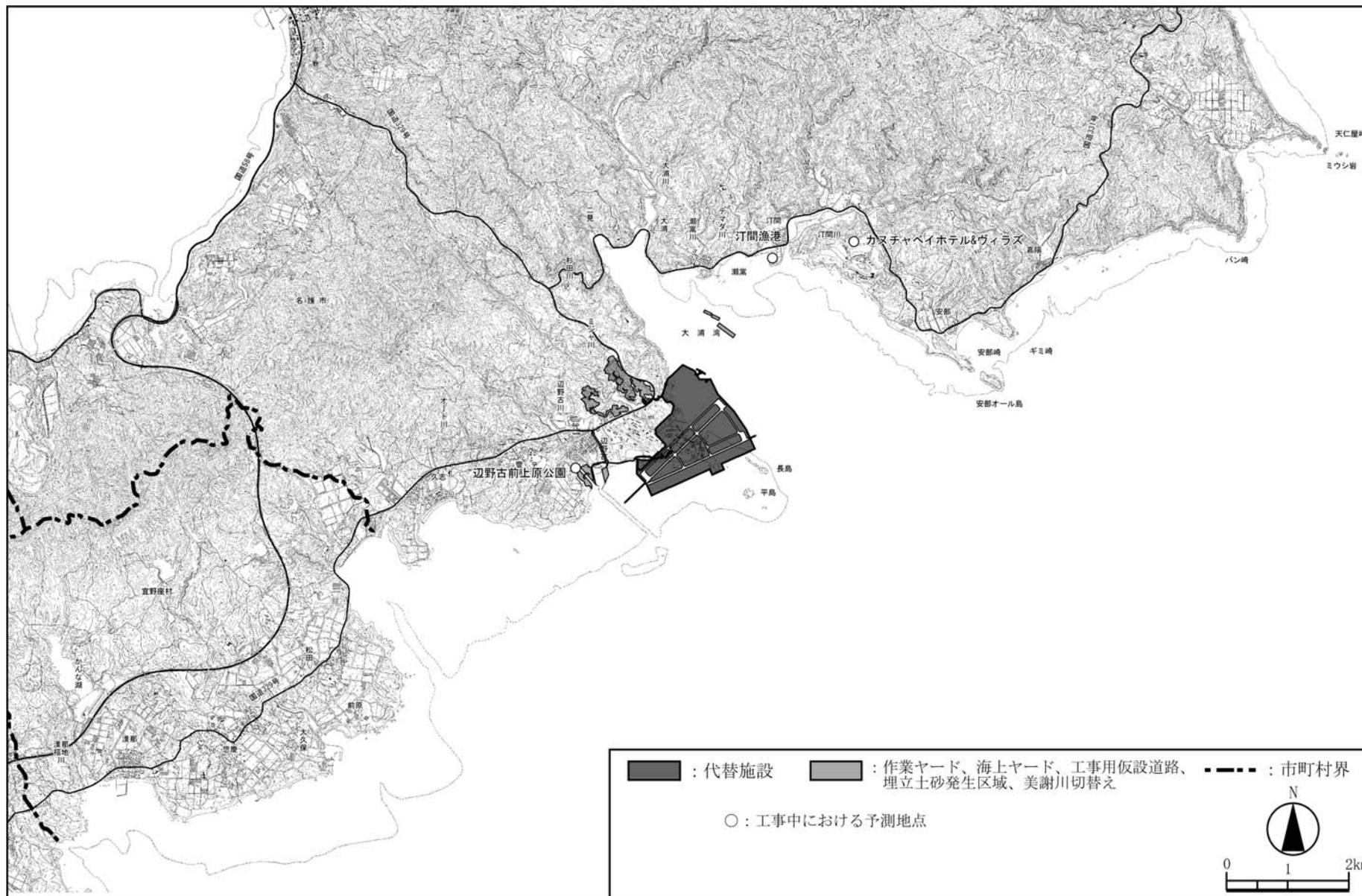


図-6.20.2.1.4 主要な眺望景観の変化予測地点（工事中）

(a) 辺野古前上原公園からの眺望景観の変化

本地点は辺野古区中心部の南部、県道 13 号線近くの辺野古前上原公園内の高台に位置しています。南南東方向への眺望では、手前に辺野古川河口部と河川敷が、その先左手には辺野古集落と山林が、右手には辺野古漁港と神社が見え、奥に太平洋を、水平線上に平島と長島を眺望できます。キャンプ・シュワブ自体は見えません。

工事中は、工事用仮設道路が視野を横切るように眺望され、辺野古地先水面作業ヤードが手前すぐ眼下の河川敷から神社手前まで視野いっぱいに見られることとなり、工事用仮設道路により平島・長島への眺望は遮られ、60° 円錐視野内の景観構成要素については人工物が 19.76%の増加となります。事業実施により以上のような眺めの変化が生じることとなります。

(b) 汀間漁港からの眺望景観の変化

本地点は大浦湾内に位置する汀間漁港の棧橋に位置しています。南西方向への眺望では、眼前に大浦湾が広がり、その先には辺野古崎一帯の半島、水平線上には平島・長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が望めます。

工事中は、海上ヤードにおいて作業を行う作業船が平島のすぐ右手に眺望されることとなり、平島への眺望は部分的に遮られる場合もありますが、構造物が出現することはないと考えられます。また、60° 円錐視野内の景観構成要素については人工物が 0.24%の増加となりますが、海上ヤードは工事終了後、速やかに撤去され工事期間中の一時的なものにとどまることから、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

(c) カヌチャベイホテル&ヴィラズからの眺望景観の変化

本地点はリゾート施設であるカヌチャベイホテル&ヴィラズの敷地内北部の高台にあります。西方向への眺望では、手前にリゾート施設、その先に大浦湾が広がり、大浦湾右手には幾重にもせり出した岬と、遠く久志岳と辺野古岳を眺望することができ、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が望めます。

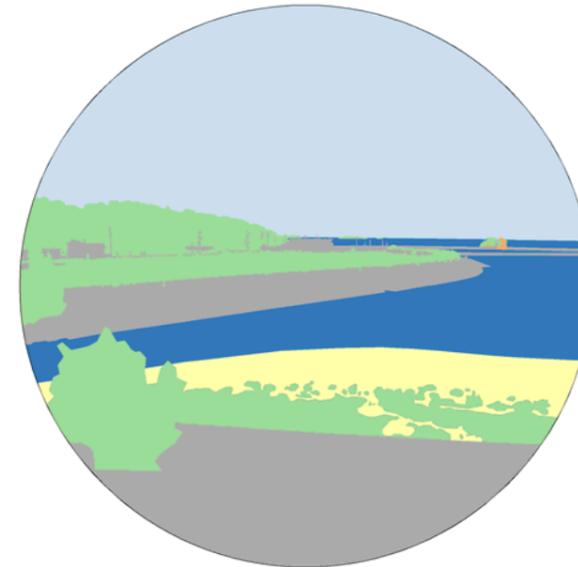
工事中は、海上ヤードにおいて作業を行う作業船が大浦湾内に眺望できますが構造物が出現することはないと考えられます。また、埋立土砂発生区域が久志岳・辺野古岳の左手前の半島地形上に眺望されることとなりますが、久志岳・辺野古岳への眺望が遮られることはありません。埋立土砂発生区域までの距離は約 5km、俯角は約 0.4° で目につき易いということではなく、60° 円錐視野内の景観構成要素については岩場・裸地が 0.06%の増加、人工物が 0.01%の増加と非常に少なく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。



現況

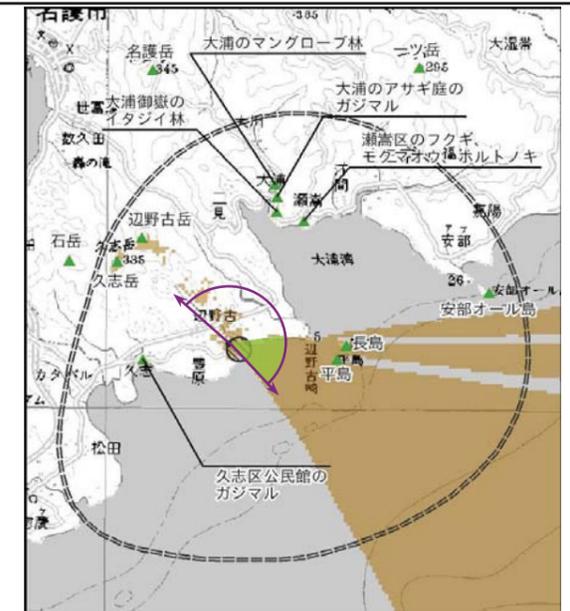


現況



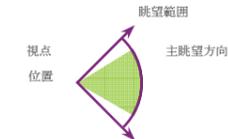
60度円錐視野に占める  
景観要素の割合

区分	現況	供用	増減
空	36.34	36.15	-0.19
人工物	24.24	44.00	19.76
樹林・草地	19.43	13.99	-5.44
岩場・裸地	0.04	0.02	-0.02
砂浜	7.15	0.05	-7.1
海面	12.80	5.79	-7.01
合計	100.00	100.00	—



凡例

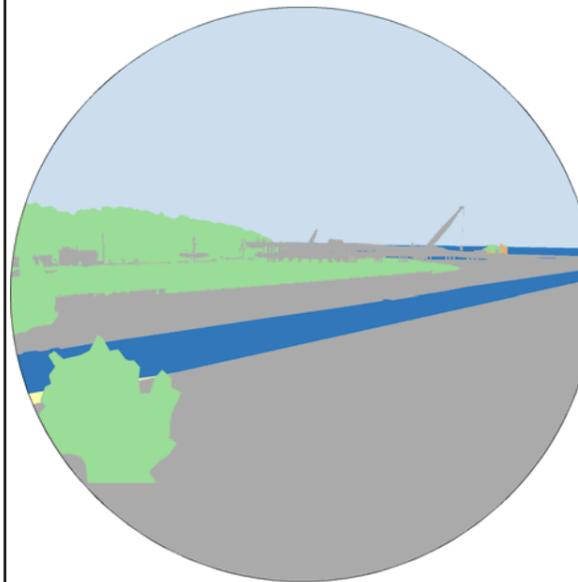
- 作業ヤード
- 調査範囲
- 景観資源
- 可視領域



工事中



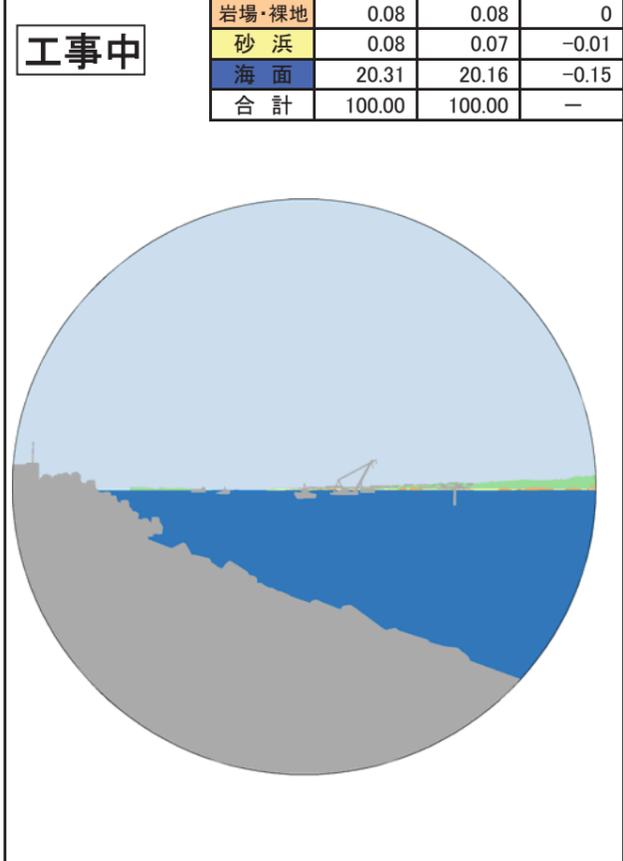
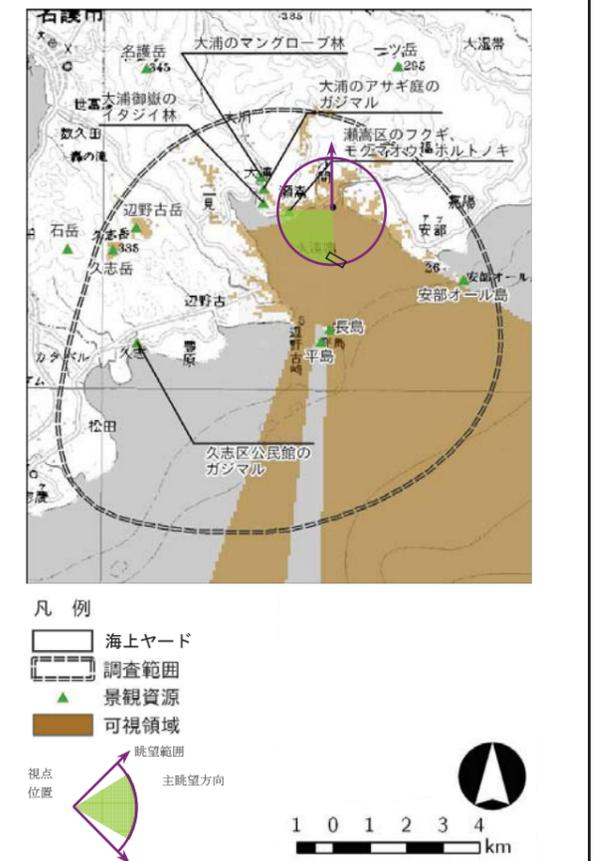
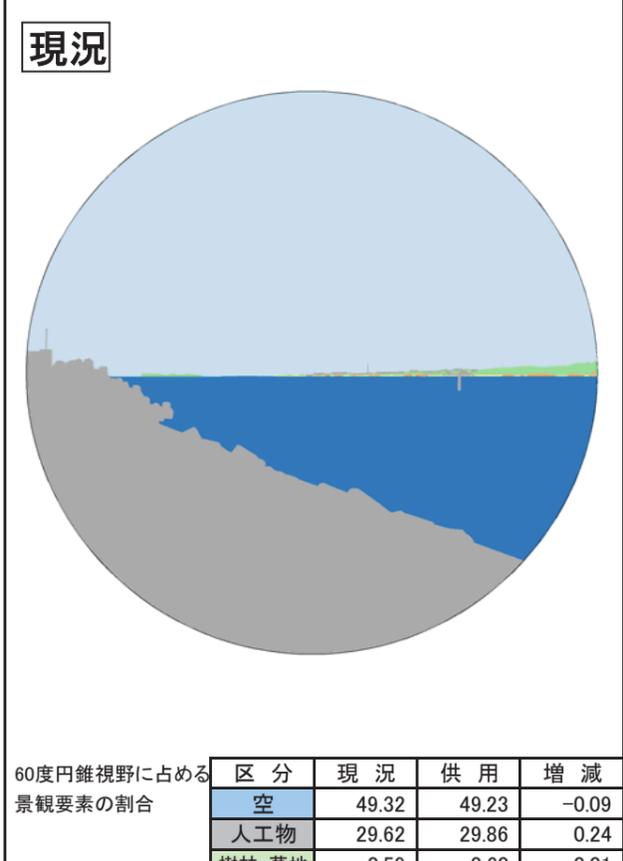
工事中



本地点は辺野古区中心部の南部、県道13号線近くの辺野古前上原公園内の高台に位置しています。南南東方向への眺望では、手前に辺野古川河口部と河川敷が、その先左手には辺野古集落と山林が、右手には辺野古漁港と神社が見え、奥に太平洋を、水平線上に平島と長島を眺望できます。キャンプ・シュワブ自体は見えません。

工事中は、工事用仮設道路が視野を横切るように眺望され、辺野古地先水面作業ヤードが手前すぐ眼下の河川敷から神社手前まで視野いっぱいに見え、工事用仮設道路により平島・長島への眺望は遮られ、60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が19.76%の増加となります。事業実施により以上のような眺めの変化が生じることとなります。

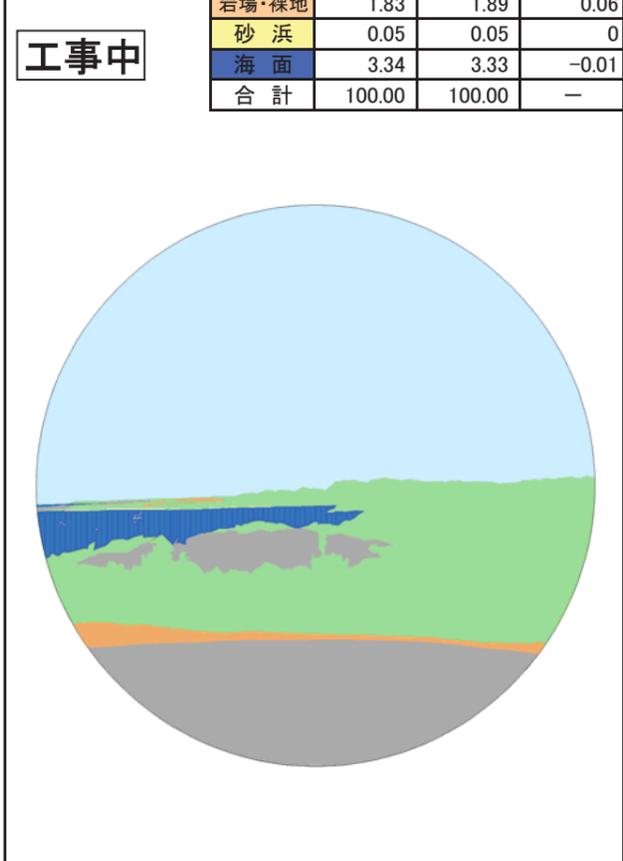
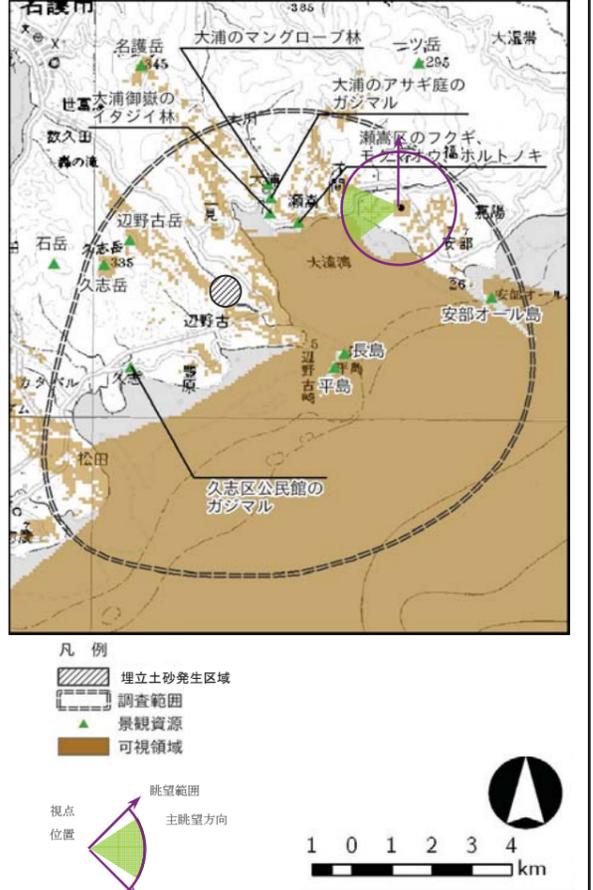
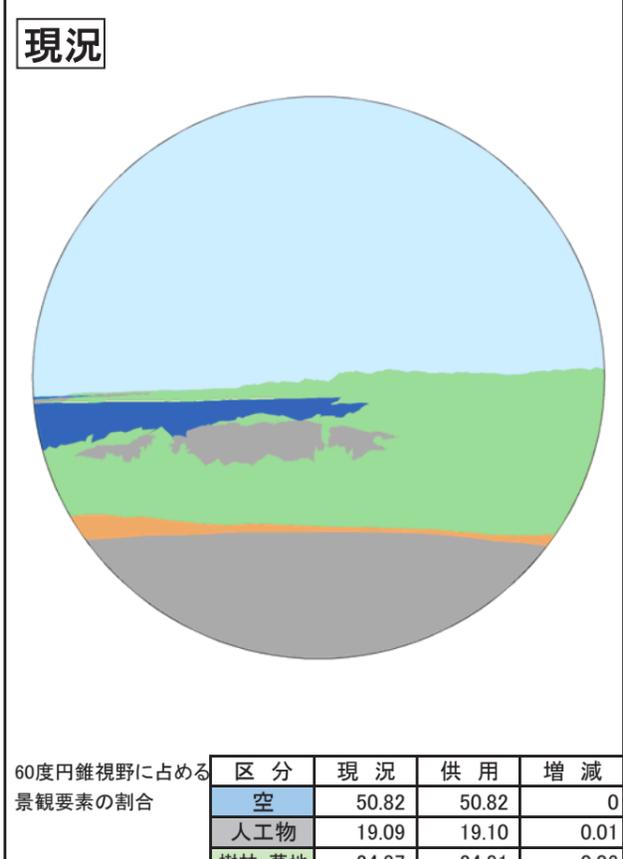
図-6.20.2.1.5 辺野古前上原公園からの眺望景観の変化



本地点は大浦湾内に位置する汀間漁港の棧橋に位置しています。南西方向への眺望では、眼前に大浦湾が広がり、その先には辺野古崎一帯の半島、水平線上には平島・長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が望めます。

工事中は、海上ヤードにおいて作業を行う作業船が平島のすぐ右手に眺望されることとなり、平島への眺望は部分的に遮られる場合もありますが、構造物が出現することはないと考えられます。また、60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.24%の増加となりますが、海上ヤードは工事終了後、速やかに撤去され工事期間中の一時的なものにとどまることから、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

図-6.20.2.1.6 汀間漁港からの眺望景観の変化



本地点はリゾート施設であるカヌチャベイホテル&ヴィラズの敷地内北部の高台にあります。西方向への眺望では、手前にリゾート施設、その先に大浦湾が広がり、大浦湾右手には幾重にもせり出した岬と、遠く久志岳と辺野古岳を眺望することができ、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が望めます。

工事中は、海上ヤードにおいて作業を行う作業船が大浦湾内に眺望できますが構造物が出現することはないと考えられます。また、埋立土砂発生区域が久志岳・辺野古岳の左手前の半島地形上に眺望されることとなりますが、久志岳・辺野古岳への眺望が遮られることはありません。埋立土砂発生区域までの距離は約5km、俯角は約0.4°で目につきやすいということはなく、60°円錐視野内の景観構成要素については岩場・裸地が0.06%の増加、人工物が0.01%の増加と非常に少なく、現況における眺望状況との大きな違いはないと考えられます。

図-6.20.2.1.7 カヌチャベイホテル&ヴィラズからの眺望景観の変化

#### 4) 車窓景観の状況

工事中における車窓景観の予測にあたっては、視点場として調査地点を選定した10地点のうち、埋立土砂発生区域に設置されるベルトコンベヤが視認可能な辺野古ダム近傍の1地点を選定しました。予測位置を図-6.20.2.1.8に示しました。

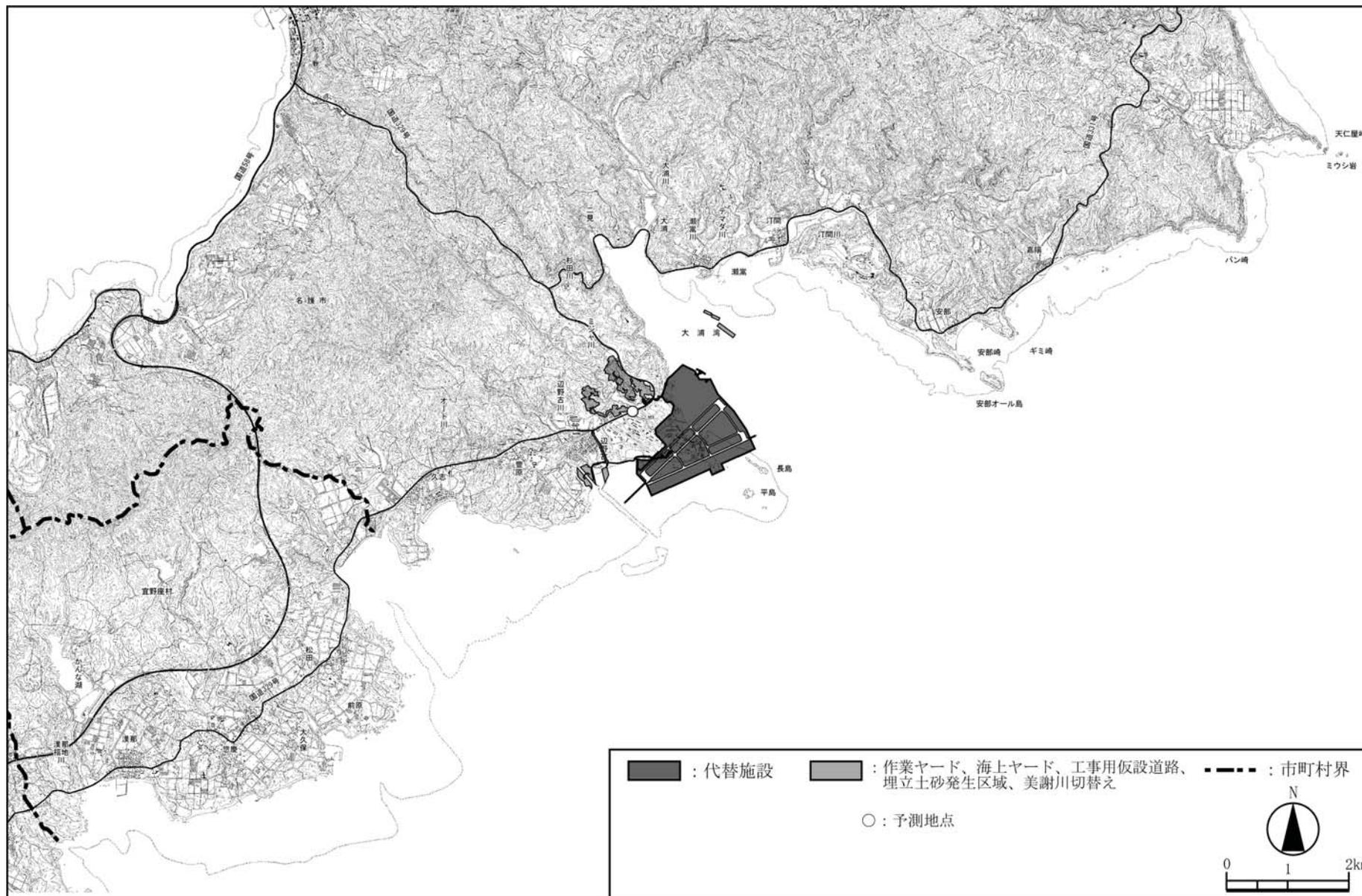


図-6.20.2.1.8 車窓景観の変化予測地点（工事中）

図-6. 20. 2. 1. 9に現況と工事中のフォトモンタージュを示しました。

本地点においては、ベルトコンベヤが道路上部を横断し、設置高さが4.5mであることから近傍通過時には圧迫感が生じるものと考えられます。しかしながら、法定速度50km/hでの走行車両内から視認される時間は非常に短いものであること、当該構造物は工事終了後、速やかに撤去し、影響は工事期間中の一時的なものにとどまることから、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。



図-6. 20. 2. 1. 9 車窓景観の変化の程度

## 6. 20. 2. 2 施設等の存在及び供用

### (1) 予測の概要

施設等の存在及び供用に伴い、代替施設及び土砂発生区域の存在・飛行場及びその施設の存在・航空機の運航・飛行場の施設の供用に伴う主要な眺望景観の状況の変化、圍繞景観の状況の変化が考えられることから、その変化の程度を予測しました。景観の予測概要は、表-6. 20. 2. 2. 1に示すとおりです。

表-6. 20. 2. 2. 1 景観に係る予測の概要（施設等の存在及び供用）

項目	内容
予測項目	主要な眺望景観の状況 圍繞景観の状況
影響要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋立地の存在     代替施設の存在     埋立土砂発生区域の存在</li> <li>・飛行場及びその施設の設置     飛行場及びその施設の存在     航空機の運航     飛行場の施設の供用</li> </ul>
予測地域	調査地域のうち、可視不可視領域の解析結果から、主要な眺望景観の状況及び圍繞景観の状況に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域としました。
予測対象時期等	主要な眺望景観及び圍繞景観に係る環境影響を的確に把握できる時期として、埋立地の存在、飛行場及びその施設の存在供用時においては飛行場施設等の供用開始後としました。
予測の手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な眺望景観の状況     予測・評価の対象として選定した主要な眺望景観の視覚的变化を、フォトモンタージュ、透視図による予測画像を作成し、現況と比較することにより推定しました。</li> <li>・圍繞景観の状況     主要な景観区の増減及び新たに加わる景観区の構成とを対比して検討しました。</li> </ul>

## (2) 予測方法

主要な眺望景観の状況は、景観利用が図られている地点で、眺望景観に変化が生じる地点を予測の対象として選定し、主要な眺望景観の視覚的变化を、事業計画に基づいてフォトモンタージュ、透視図による予測画像を作成し、調査によって得られた現況における現場写真と比較することにより、変化の程度を検討しました。また、航空機の運航が眺望景観の価値に及ぼす影響について、ヒアリング調査結果をもとに検討を行いました。

囲繞景観の状況は、主要な景観区の増減及び新たに加わる景観区の構成とを対比して検討しました。また、航空機の運航が囲繞景観の価値に及ぼす影響について、ヒアリング調査結果をもとに検討を行いました。

## (3) 予測結果

### 1) 主要な眺望景観の状況

#### (a) 眺めの状況の変化

存在・供用時における主要な眺望景観の予測にあたっては、主要な視点場として調査地点を選定した陸域の23地点のうち、事業実施区域或いは航空機の飛行が眺望可能な地点を選定しました。選定の際には、各地区1地点を基本とし、同一地区内に複数の視点場がある場合、眺望状況がより良く、利用人数の多い地点を選定しました。また、カヌチャベイホテル&ヴィラズ及びビーチは観光での利用人数が非常に多いことから追加選定しました。カヌチャビーチについては降雨時と夜間についても追加しました。平島については地域の住民の方達による利用はなく、供用後は立ち入りができない区域となりますが、現況としてリゾートホテルのアクティビティの場として利用されていることから追加選定しました。なお、米軍施設内については地域での利用がないことから選定しておりません。

海上の地点については、航路として地元船舶に利用される頻度が高いと思われる辺野古航路を代表1地点として選定しました。

海中の地点については平均的な水平透視度（約20m）を考慮した場合、水中からの護岸の可視範囲は供用後の制限水域内に含まれてしまうと考えられることから選定しておりません。

航空機からの地点については、地域での利用はほとんどないことから選定しておりません。

主要な眺望景観の予測位置を図-6.20.2.2.1に示しました。また、これらの主要な眺望景観の変化の程度を図-6.20.2.2.2～図-6.20.2.2.14に示しました。

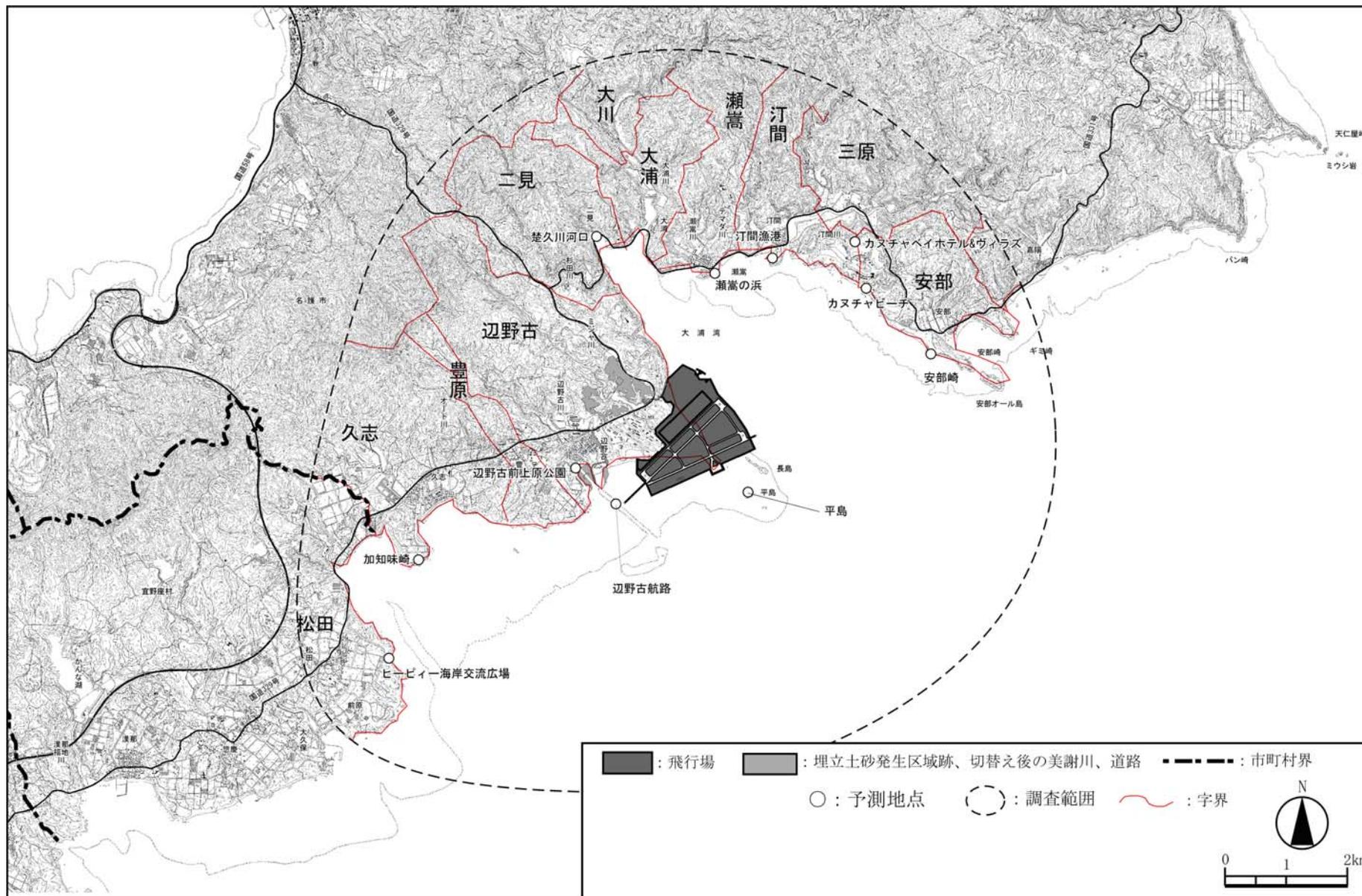


図-6.20.2.2.1 主要な眺望景観予測地点（供用時）

a) 安部崎からの眺望景観の変化

本地点は安部区南端の安部崎にある灯台の先に位置する海岸の、岩礁近傍の崖上にあります。南西方向への眺望では、崖上から手前に岩礁、その先には大浦湾と太平洋が広がり、水平線上には遠く平島と長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区の東側が望めます。

供用後は、代替施設が平島・長島の右手に遠望されることとなりますが、平島・長島への眺望が遮られることはありません。また、飛行場支援施設などにより半島地形上の稜線が遮られることはありません。埋立土砂発生区域跡地の一部が半島地形上に眺望されますが、久志岳・辺野古岳への眺望が遮られることはなく、周辺樹林地との違和感が生じることはありません。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.15%の増加となりますが、代替施設までの距離は約3.2km、護岸への仰角は約0.2°で圧迫感はなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

b) カヌチャベイホテル&ヴィラズからの眺望景観の変化

本地点はリゾート施設であるカヌチャベイホテル&ヴィラズの敷地内北部の高台にあります。南西方向への眺望では、手前にリゾート施設、その先には大浦湾と太平洋が広がり、水平線上には遠く平島と長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が望めます。

供用後は、代替施設が平島・長島の右手に遠望され、護岸により長島への眺望はごく一部が遮られますが、島嶼群全体が視認できなくなることはありません。また、飛行場支援施設などにより半島地形上の稜線が遮られることはありません。埋立土砂発生区域跡地の一部が半島地形上に眺望されますが、久志岳・辺野古岳への眺望が遮られることはなく、周辺樹林地との違和感が生じることはありません。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.24%の増加となりますが、代替施設までの距離は約3.2km、護岸への俯角は約1.4°で目につき易いということはなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

c) カヌチャビーチ（昼間）からの眺望景観の変化

本地点はリゾート施設であるカヌチャベイホテル&ヴィラズの敷地内南部にある海岸のリゾートビーチとなっています。南西方向への眺望では、眼前一面に大浦湾が広がり、水平線上には遠く平島と長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が望めます。

供用後は、代替施設が平島・長島の右手に遠望されることとなりますが、平

島・長島への眺望が遮られることはありません。また、飛行場支援施設などにより半島地形上の稜線が遮られることはありません。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.23%の増加となりますが、代替施設までの距離は約3.0km、護岸への仰角は約0.2°で圧迫感はなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

d) カヌチャビーチ（降雨時）からの眺望景観の変化

本地点はリゾート施設であるカヌチャベイホテル&ヴィラズの敷地内南部にある海岸のリゾートビーチとなっています。南西方向への眺望では、眼前一面に大浦湾が広がり、水平線上には遠く平島と長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が望めます。

供用後は、代替施設が平島・長島の右手に遠望されることとなりますが、平島・長島への眺望が遮られることはありません。また、飛行場支援施設などにより半島地形上の稜線が遮られることはありません。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.17%の増加となりますが、代替施設までの距離は約3.0km、護岸への仰角は約0.2°で圧迫感はなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

e) カヌチャビーチ（夜間）からの眺望景観の変化

本地点はリゾート施設であるカヌチャベイホテル&ヴィラズの敷地内南部にある海岸のリゾートビーチとなっています。南西方向への眺望では、眼前一面に大浦湾が広がり、キャンプ・シュワブのキャンプ地区内の照明を見ることが出来ます。また、昼間には眺望が可能だった平島と長島については、夜間においては位置の確認は困難となります。

供用後は、代替施設が平島・長島の右手に遠望されることとなりますが、平島・長島への眺望が遮られることはありません。現況でキャンプ地区として利用されていた場所が滑走路となるため、照明は減ることとなります。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.17%の増加となりますが、代替施設までの距離は約3.0km、護岸への仰角は約0.2°で圧迫感はなく、さらに、夜間であることから位置の確認は困難であり、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

f) 汀間漁港からの眺望景観の変化

本地点は大浦湾内に位置する汀間漁港の棧橋に位置しています。南西方向への眺望では、眼前に大浦湾が広がり、その先には辺野古崎一帯の半島、水平線上には平島と長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地

区・演習場地区の東側が望めます。

供用後は、代替施設が平島・長島の手前に眺望され、護岸及び進入灯により平島・長島への眺望は一部が遮られることとなりますが、島嶼群全体が視認できなくなることはありません。60° 円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.31%の増加となりますが、代替施設までの距離は約2.2km、護岸への仰角は約0.2°で圧迫感はなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

g) 瀬嵩の浜からの眺望景観の変化

本地点は瀬嵩区集落南部、国道331号からすぐの海岸に位置しています。南南西方向への眺望では、眼前一面に大浦湾が広がり、手前に海成段丘（サンゴ礁段丘）の岩礁、右手には辺野古崎一帯の半島、水平線上に平島と長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が望めます。

供用後は、代替施設が平島・長島のすぐ右手に眺望されることとなり、護岸及び進入灯により平島・長島への眺望は一部が遮られますが、島嶼群全体が視認できなくなることはありません。60° 円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.43%の増加となりますが、代替施設までの距離は約1.6km、護岸への仰角は約0.04°で圧迫感はなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

h) 楚久川河口からの眺望景観の変化

本地点は二見区集落（北側）の南部に位置し、国道331号に隣接する公園のすぐ下の干潟上に位置しています。南東方向への眺望では眼前に楚久川河口の干潟が広がり、視野両端には山林、水平線上には平島と長島を眺望できます。キャンプ・シュワブ自体は見えません。

供用後は、代替施設が長島のすぐ右手に眺望されることとなり、護岸及び進入灯により平島・長島への眺望は遮られますが、右手の山林（海成段丘）の稜線を超える高さではなく、距離が離れており視認量がわずかであることなどから違和感が生じることはありません。60° 円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.09%の増加となりますが、代替施設までの距離は約2.5km、護岸への仰角は約0.2°で圧迫感はなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

i) 辺野古前上原公園からの眺望景観の変化

本地点は辺野古区中心部の南部、県道13号線近くの辺野古前上原公園内の

高台に位置しています。東方向への眺望では、手前に辺野古川河口部と河川敷が、その先左手には辺野古集落と山林が、右手には辺野古漁港と神社が望め、奥に太平洋を、水平線上に平島と長島を眺望できます。キャンプ・シュワブ自体は見えません。

供用後は、代替施設が平島・長島の手前に眺望されることとなり、護岸により平島・長島への眺望は遮られます。代替施設までの距離は約 1.0km、護岸への俯角は約 0.1° で目につき易いということはありませんが、工事用仮設道路が視野を横切るように眺望されること、作業ヤード跡地が手前すぐ眼下の河川敷から神社手前まで視野いっぱいに見られることとなり、60° 円錐視野内の景観構成要素については草地が 11.68%、人工物が 1.83%の増加となります。事業実施により以上のような眺めの変化が生じることとなります。

#### j) 加知味崎からの眺望景観の変化

本地点は久志区南部の農地の先にある加知味崎の海岸に位置しています。東北東方向への眺望では、加知味崎の浜辺と右手に太平洋が広がり、水平線上に平島を眺望できます。キャンプ・シュワブ自体は見えません。

供用後は、地形に遮られて代替施設そのものは眺望できません。飛行する回転翼機については眺望可能であると考えられますが、景観構成要素の変化はほとんど無く、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

#### k) ヒーピー海岸交流広場からの眺望景観の変化

本地点は松田区南東部の海岸沿いのヒーピー海岸交流広場内に位置しています。北東方向への眺望では、眼前に太平洋が広がり、左手に豊原区・辺野古区・安部区の半島が望め、左手遠方にかすかに一ッ岳を、水平線上の遠くにかすかに平島と長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区の南側が遠望できます。

供用後は、代替施設が平島・長島の左手に遠望されることとなりますが、平島・長島への眺望が遮られることはありません。代替施設までの距離は約 5km、護岸への仰角は約 0.09° で圧迫感はなく、60° 円錐視野内の景観構成要素については人工物が 0.02%の増加と非常に少なく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

#### l) 平島からの眺望景観の変化

本地点は辺野古区南端、辺野古崎にある灯台の沖にある平島の海岸部に位置しています。西方向への眺望では、久志岳・辺野古岳・名護岳を眺望でき、眼前に砂浜と海域が広がり、キャンプ・シュワブのキャンプ地区が直近に見えます。

供用後も、代替施設が直近に眺望されますが、久志岳・辺野古岳・名護岳への眺望が遮られることはありません。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.91%の増加となりますが、代替施設までの距離は約500m、護岸への仰角は約0.3°で圧迫感はなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

m) 辺野古航路からの眺望景観の変化

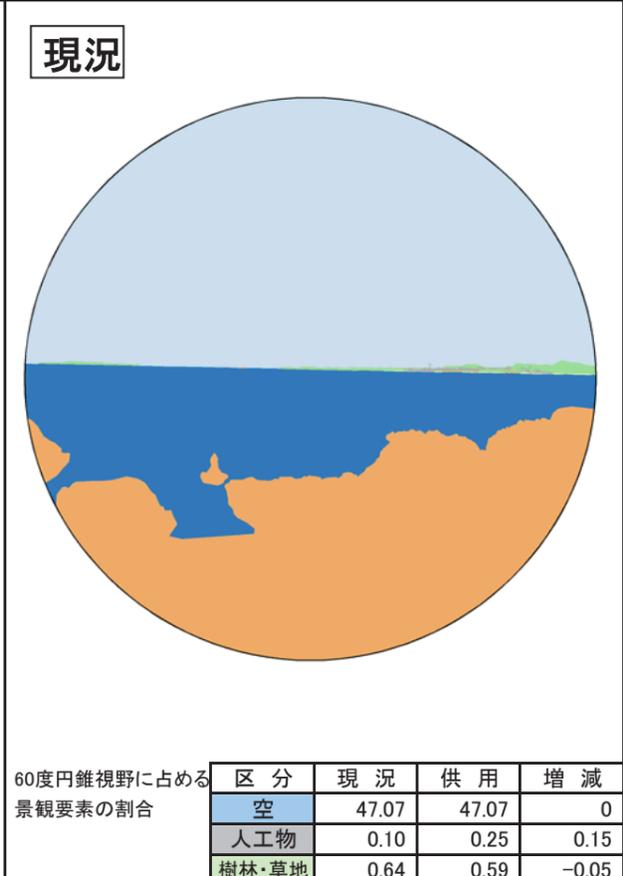
本地点は辺野古漁港の航路の海上に位置しています。北東方向への眺望では、平島と長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区が近望できます。

供用後も代替施設が近くに眺望されます。護岸により長島への眺望が一部遮られることとなりますが、島嶼群全体が視認できなくなることはありません。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.89%の増加、進入灯は直近に視認されますが、代替施設までの距離は約500m、護岸への仰角は約1.0°で圧迫感はなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。





現況

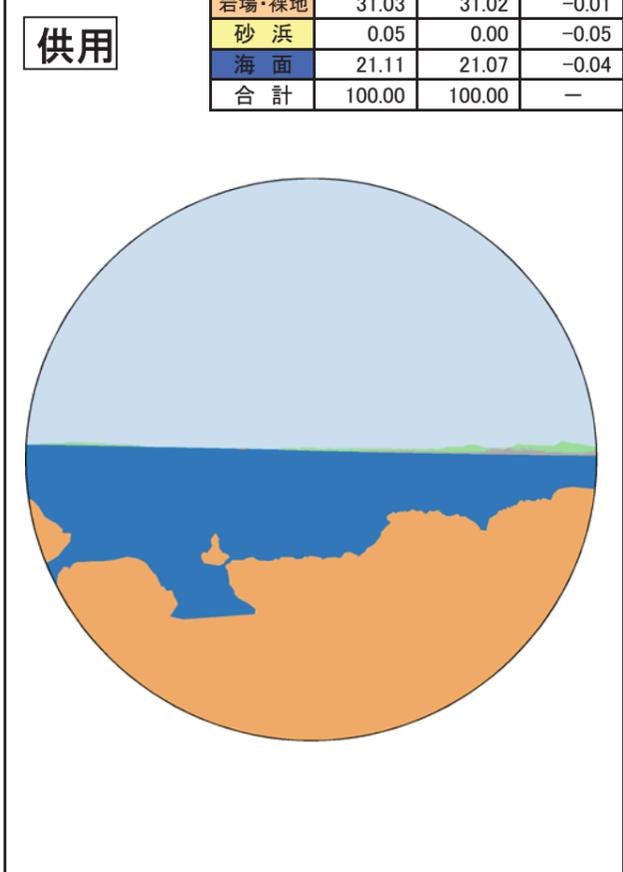


60度円錐視野に占める  
景観要素の割合

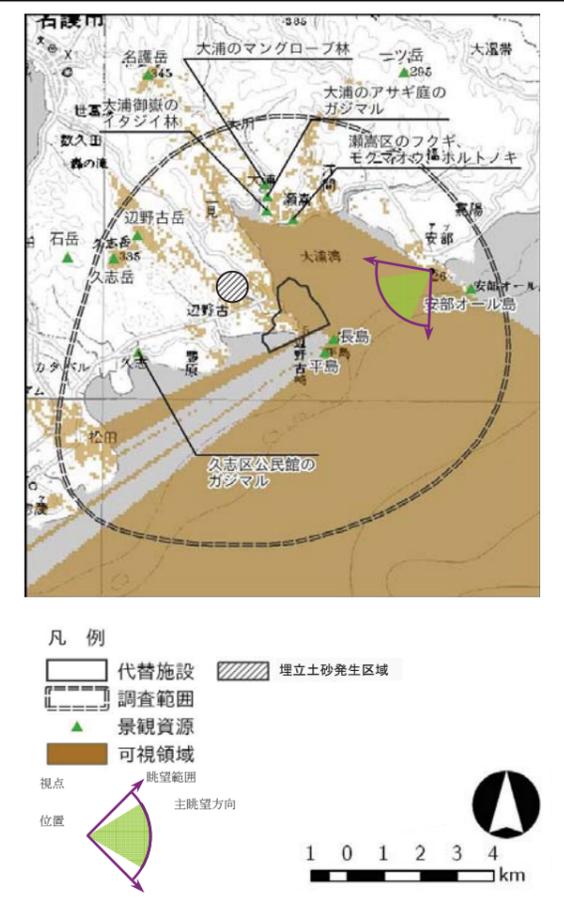
区分	現況	供用	増減
空	47.07	47.07	0
人工物	0.10	0.25	0.15
樹林・草地	0.64	0.59	-0.05
岩場・裸地	31.03	31.02	-0.01
砂浜	0.05	0.00	-0.05
海面	21.11	21.07	-0.04
合計	100.00	100.00	—



供用



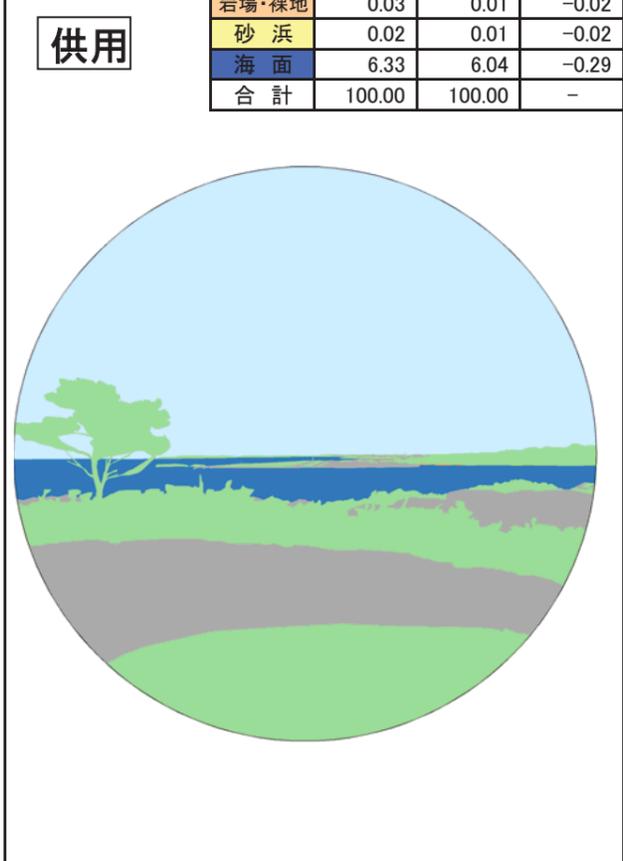
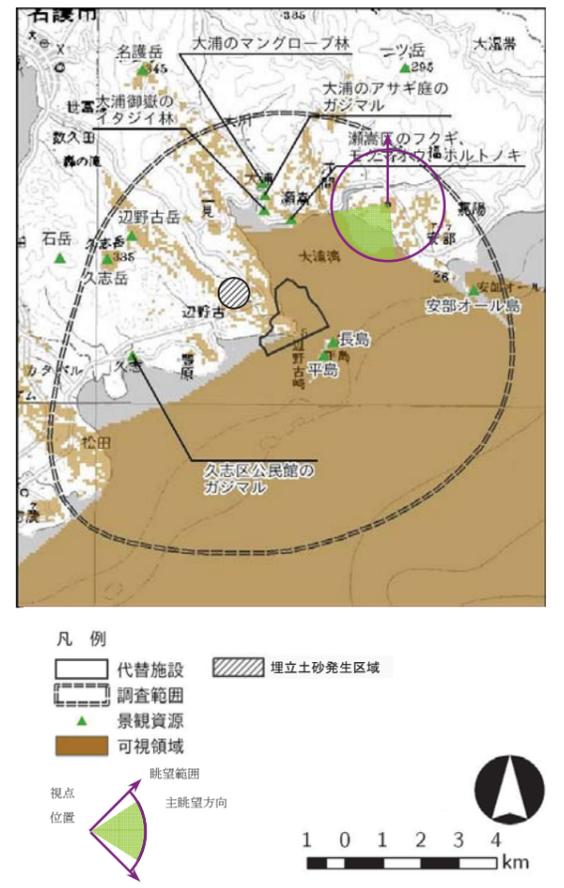
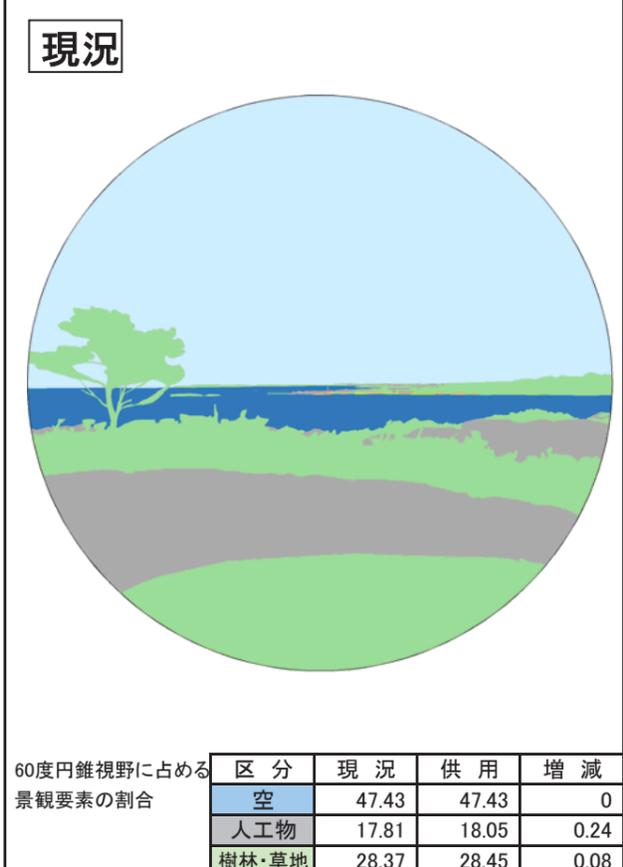
供用



本地点は安部区南端の安部崎にある灯台の先に位置する海岸の、岩礁近傍の崖上にあります。南西方向への眺望では、崖上から手前に岩礁、その先には大浦湾と太平洋が広がり、水平線上には遠く平島と長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区の東側が望めます。

供用後は、代替施設が平島・長島の右手に遠望されることとなりますが、平島・長島への眺望が遮られることはありません。また、飛行場支援施設などにより半島地形上の稜線が遮られることはありません。埋立土砂発生区域跡地の一部が半島地形上に眺望されますが、久志岳・辺野古岳への眺望が遮られることはなく、周辺樹林地との違和感が生じることはありません。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.15%の増加となりますが、代替施設までの距離は約3.2km、護岸への仰角は約0.2°で圧迫感はなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

図-6.20.2.2.2  
安部崎からの眺望景観の変化



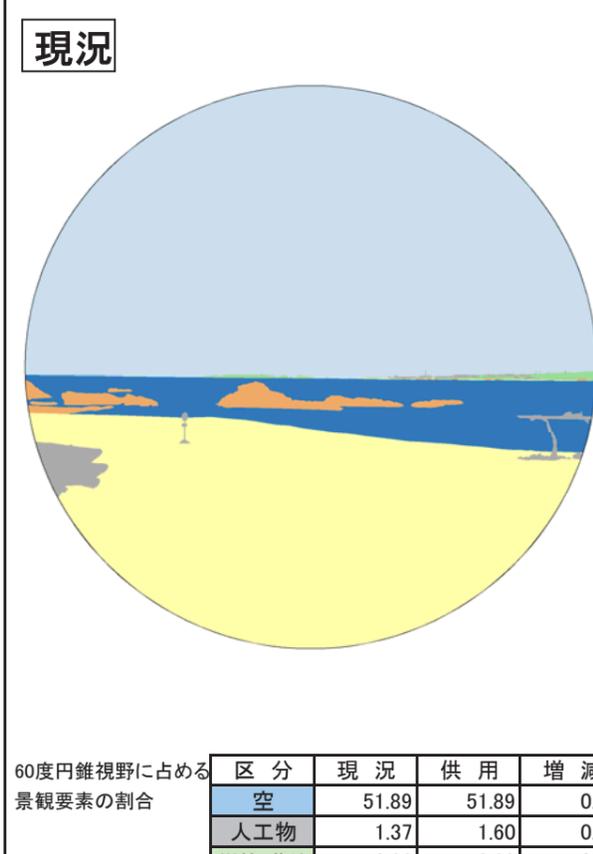
本地点はリゾート施設であるカヌチャベイホテル & ヴィラズの敷地内北部の高台にあります。南西方向への眺望では、手前にリゾート施設、その先に大浦湾と太平洋が広がり、水平線上には遠く平島と長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が望めます。

供用後は、代替施設が平島・長島の右手に遠望され、護岸により長島への眺望はごく一部が遮られますが、島嶼群全体が視認できなくなることはありません。また、飛行場支援施設などにより半島地形上の稜線が遮られることはありません。埋立土砂発生区域跡地の一部が半島地形上に眺望されますが、久志岳・辺野古岳への眺望が遮られることはなく、周辺樹林地との違和感が生じることはありません。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.24%の増加となりますが、代替施設までの距離は約3.2km、護岸への俯角は約1.4°で目につきやすいということはなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

図-6.20.2.2.3  
カヌチャベイホテル&ヴィラズからの眺望景観の変化



現況

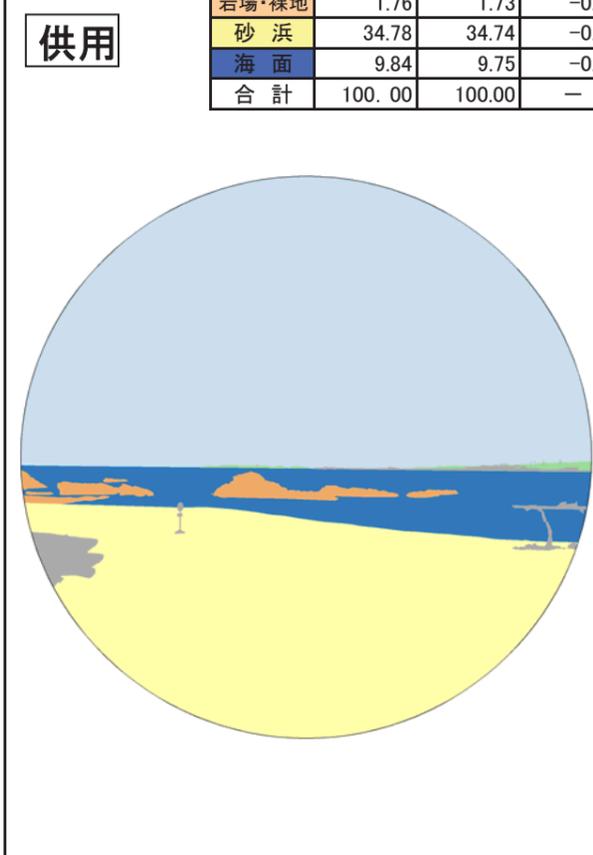


60度円錐視野に占める  
景観要素の割合

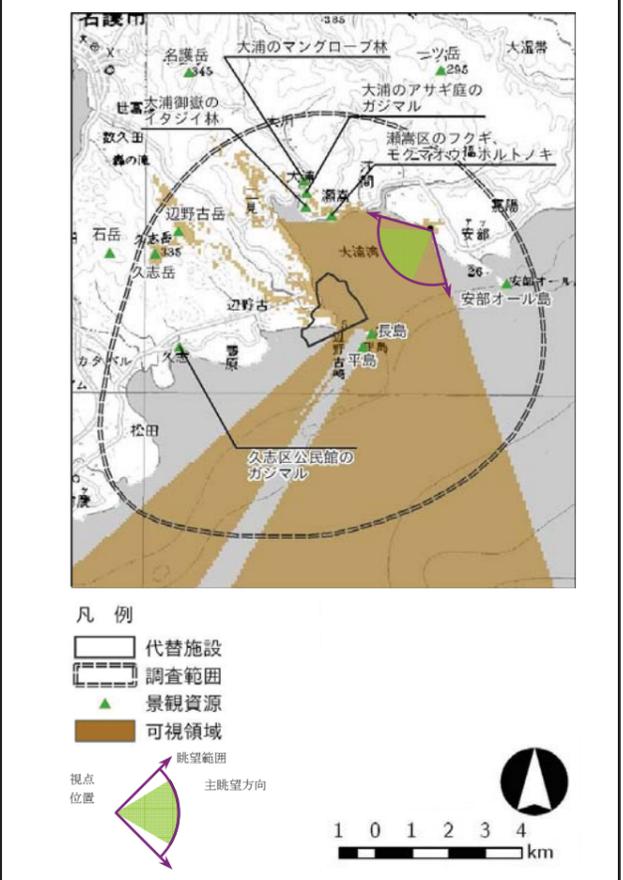
区分	現況	供用	増減
空	51.89	51.89	0.00
人工物	1.37	1.60	0.23
樹林・草地	0.36	0.29	-0.07
岩場・裸地	1.76	1.73	-0.03
砂浜	34.78	34.74	-0.04
海面	9.84	9.75	-0.09
合計	100.00	100.00	—



供用



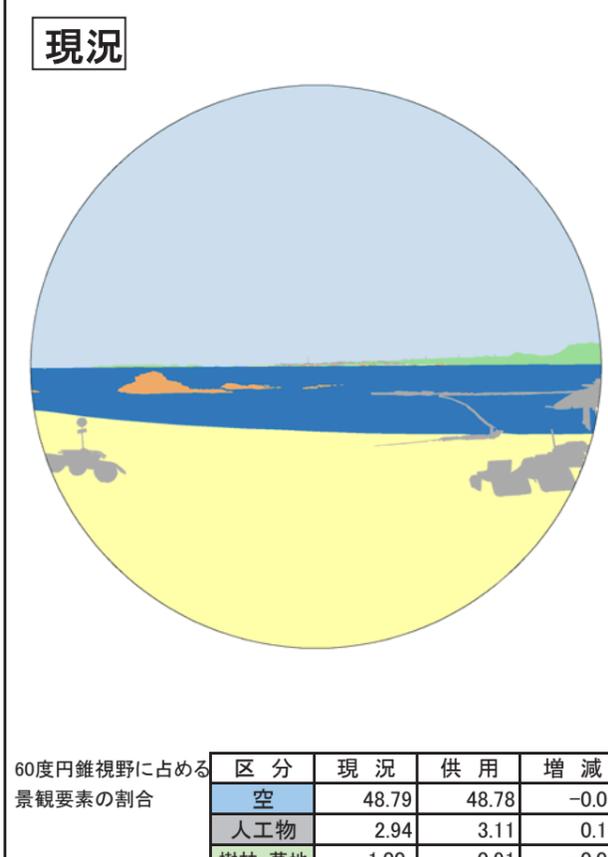
供用



本地点はリゾート施設であるカヌチャベイホテル & ヴィラズの敷地内南部にある海岸のリゾートビーチとなっています。南西方向への眺望では、眼前一面に大浦湾が広がり、水平線上には遠く平島と長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が望めます。

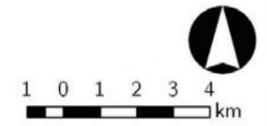
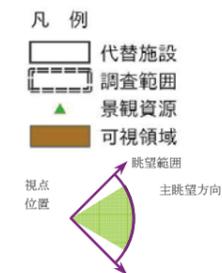
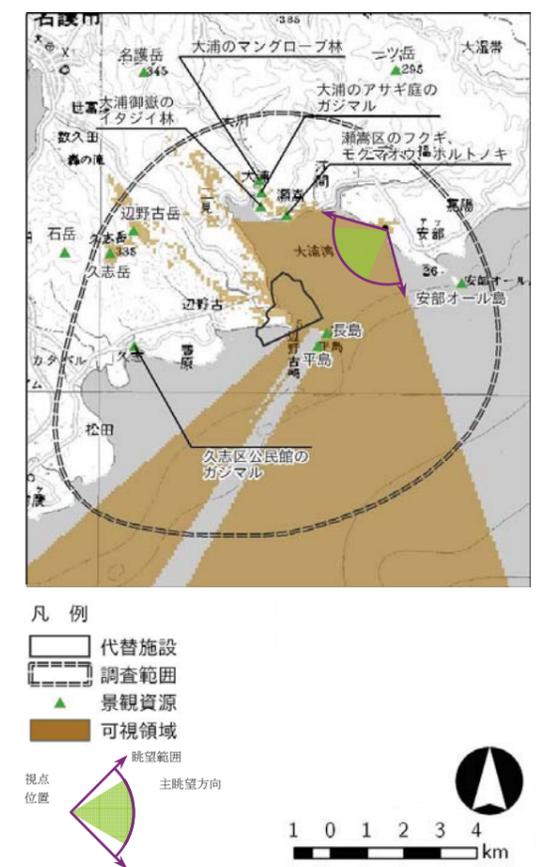
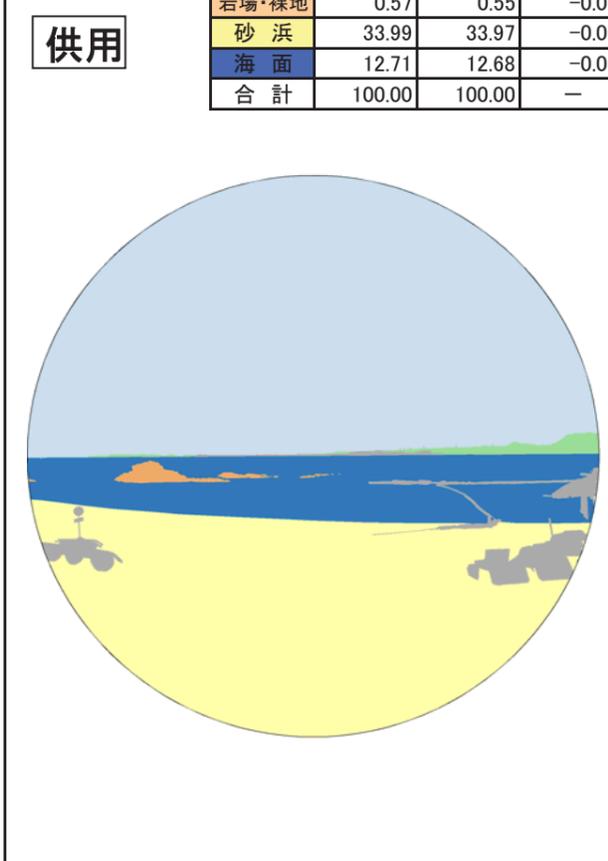
供用後は、代替施設が平島・長島の右手に遠望されることとなりますが、平島・長島への眺望が遮られることはありません。また、飛行場支援施設などにより半島地形上の稜線が遮られることはありません。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.23%の増加となりますが、代替施設までの距離は約3.0km、護岸への仰角は約0.2°で圧迫感はなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

図-6.20.2.2.4  
カヌチャビーチからの眺望景観の変化



60度円錐視野に占める  
景観要素の割合

区分	現況	供用	増減
空	48.79	48.78	-0.01
人工物	2.94	3.11	0.17
樹林・草地	1.00	0.91	-0.09
岩場・裸地	0.57	0.55	-0.02
砂浜	33.99	33.97	-0.02
海面	12.71	12.68	-0.03
合計	100.00	100.00	—



本地点はリゾート施設であるカヌチャベイホテル & ヴィラズの敷地内南部にある海岸のリゾートビーチとなっています。南西方向への眺望では、眼前一面に大浦湾が広がり、水平線上には遠く平島と長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が望めます。

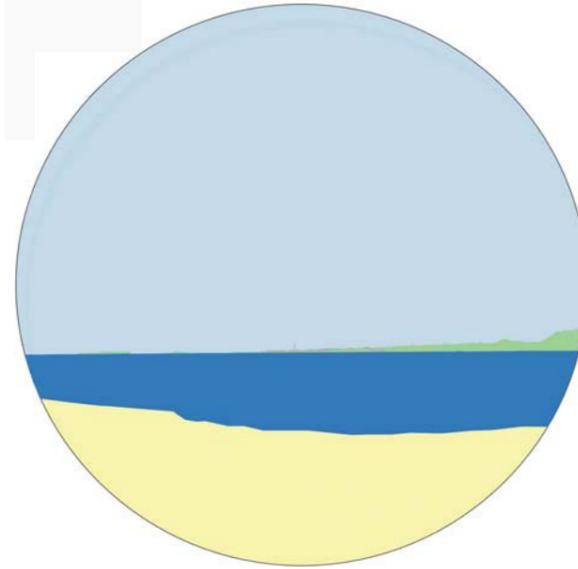
供用後は、代替施設が平島・長島の右手に遠望されることとなりますが、平島・長島への眺望が遮られることはありません。また、飛行場支援施設などにより半島地形上の稜線が遮られることはありません。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.17%の増加となりますが、代替施設までの距離は約3.0km、護岸への仰角は約0.2°で圧迫感はなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

図-6.20.2.2.5  
カヌチャビーチ(降雨時)からの眺望景観の変化

現況

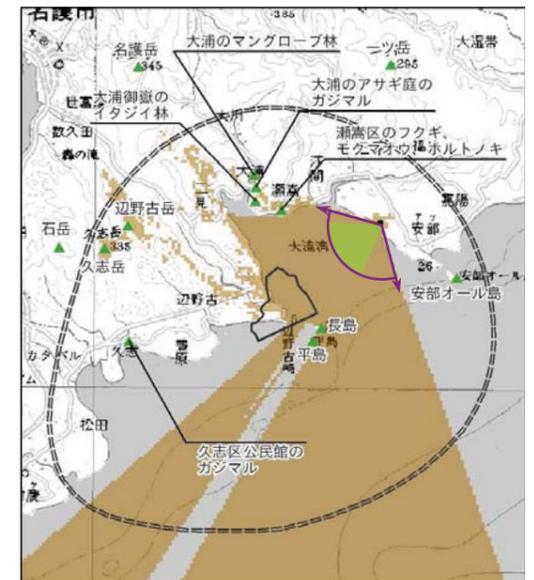


現況



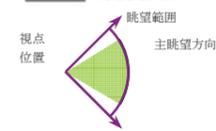
60度円錐視野に占める  
景観要素の割合

区分	現況	供用	増減
空	64.18	64.17	-0.01
人工物	0.07	0.24	0.17
樹林・草地	0.91	0.80	-0.11
岩場・裸地	0.02	0.01	-0.01
砂浜	19.81	19.81	0
海面	15.01	14.97	-0.04
合計	100.00	100.00	—

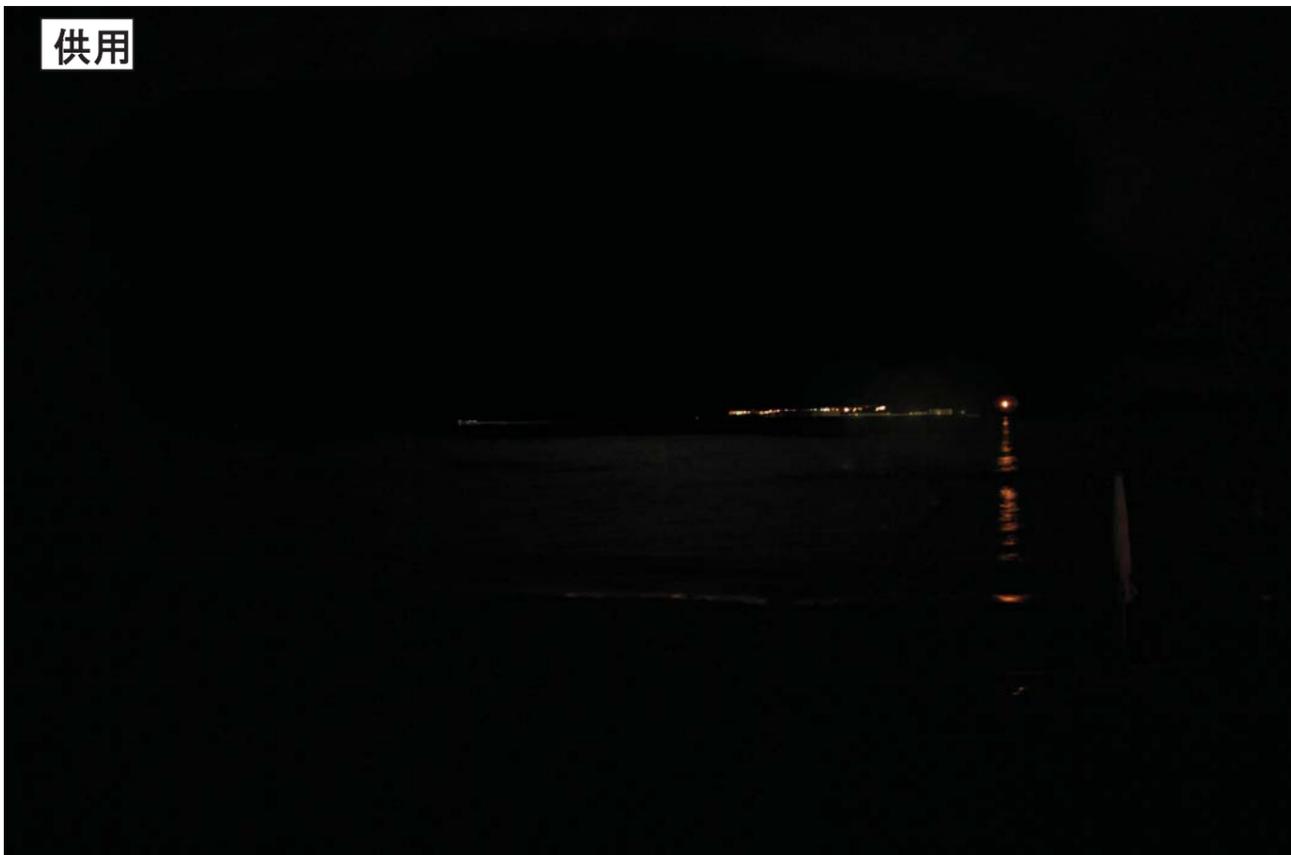


凡例

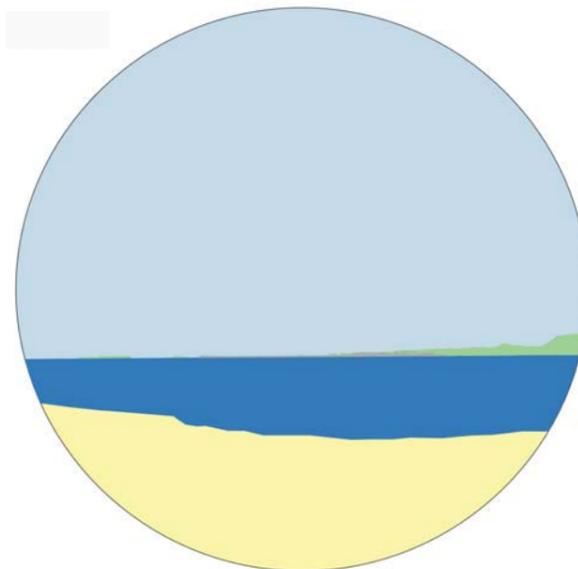
- 代替施設
- 調査範囲
- 景観資源
- 可視領域



供用



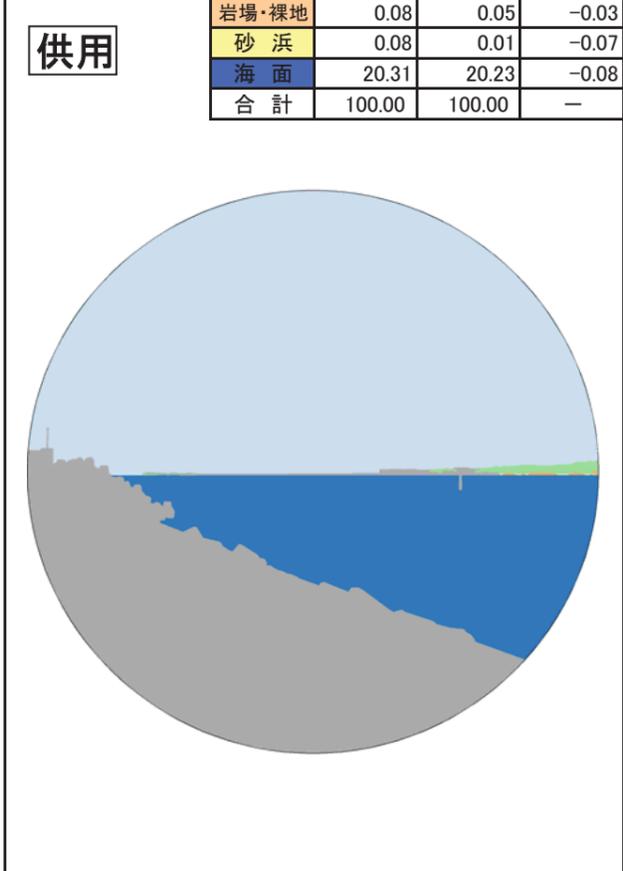
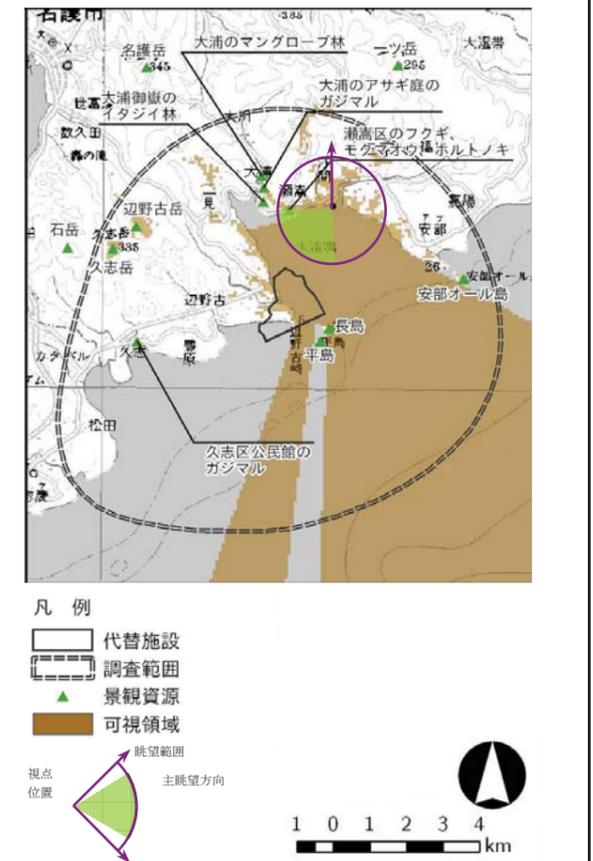
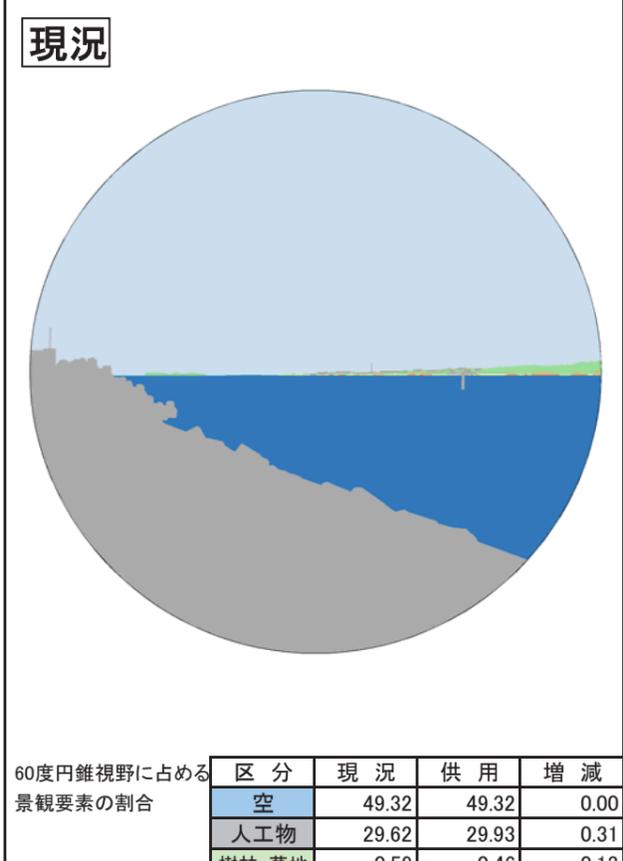
供用



本地点はリゾート施設であるカヌチャベイホテル & ヴィラズの敷地内南部にある海岸のリゾートビーチとなっています。南西方向への眺望では、眼前一面に大浦湾が広がり、キャンプ・シュワブのキャンプ地区内の照明を見ることが出来ます。また、昼間には眺望が可能だった平島と長島については、夜間においては位置の確認は困難となります。

供用後は、代替施設が平島・長島の右手に遠望されることとなりますが、平島・長島への眺望が遮られることはありません。現況でキャンプ地区として利用されていた場所が滑走路となるため、照明は減ることとなります。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.17%の増加となりますが、代替施設までの距離は約3.0km、護岸への仰角は約0.2°で圧迫感はなく、さらに、夜間であることから位置の確認は困難であり、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

図-6.20.2.2.6  
カヌチャビーチ(夜間)からの眺望景観の変化



本地点は大浦湾内に位置する汀間漁港の栈橋に位置しています。南西方向への眺望では、眼前に大浦湾が広がり、その先には辺野古崎一帯の半島、水平線上には平島と長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が望めます。

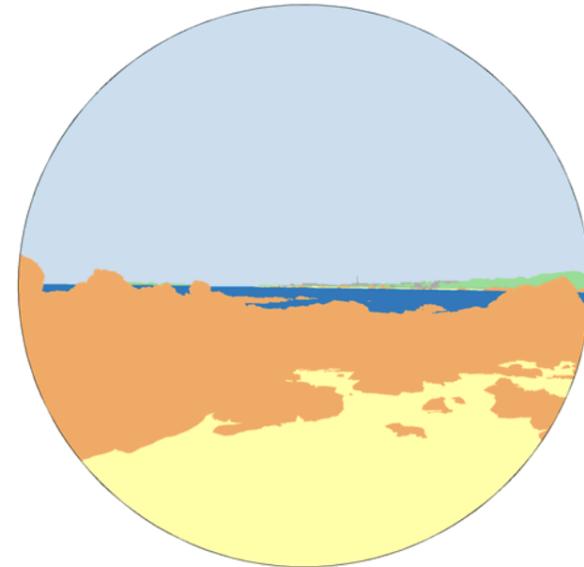
供用後は、代替施設が平島・長島の手前に眺望され、護岸及び進入灯により平島・長島への眺望は一部が遮られることとなりますが、島嶼群全体が視認できなくなることはありません。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.31%の増加となりますが、代替施設までの距離は約2.2km、護岸への仰角は約0.2°で圧迫感はなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

図-6.20.2.2.7 汀間漁港からの眺望景観の変化

現況

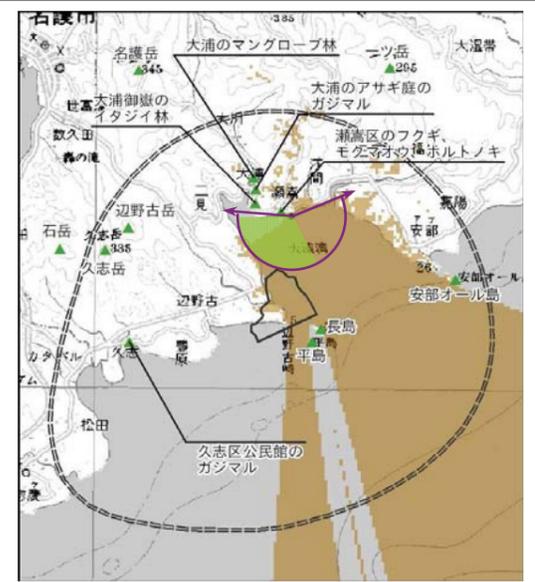


現況



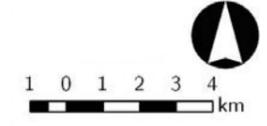
60度円錐視野に占める  
景観要素の割合

区分	現況	供用	増減
空	48.74	48.60	-0.14
人工物	0.14	0.57	0.43
樹林・草地	0.73	0.58	-0.15
岩場・裸地	26.55	26.52	-0.03
砂浜	21.76	21.72	-0.04
海面	2.08	2.01	-0.07
合計	100.00	100.00	—



凡例

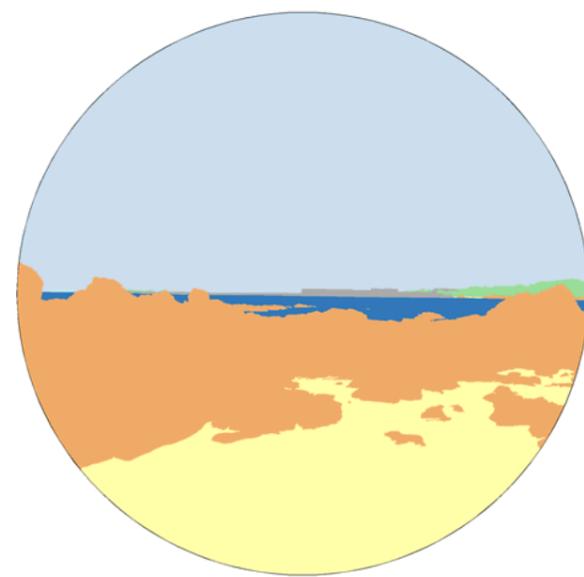
- 代替施設
- 調査範囲
- 景観資源
- 可視領域
- 眺望範囲
- 視点位置
- 主眺望方向



供用



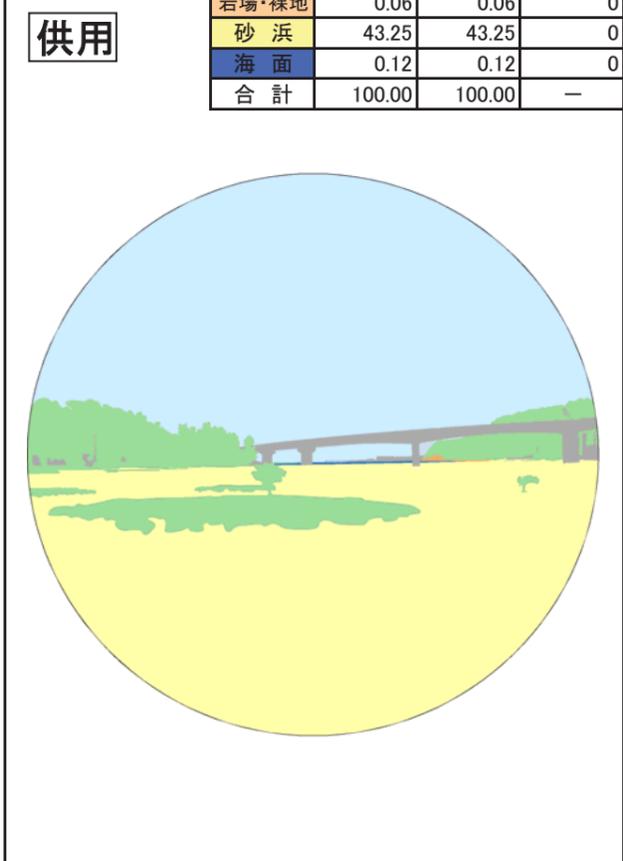
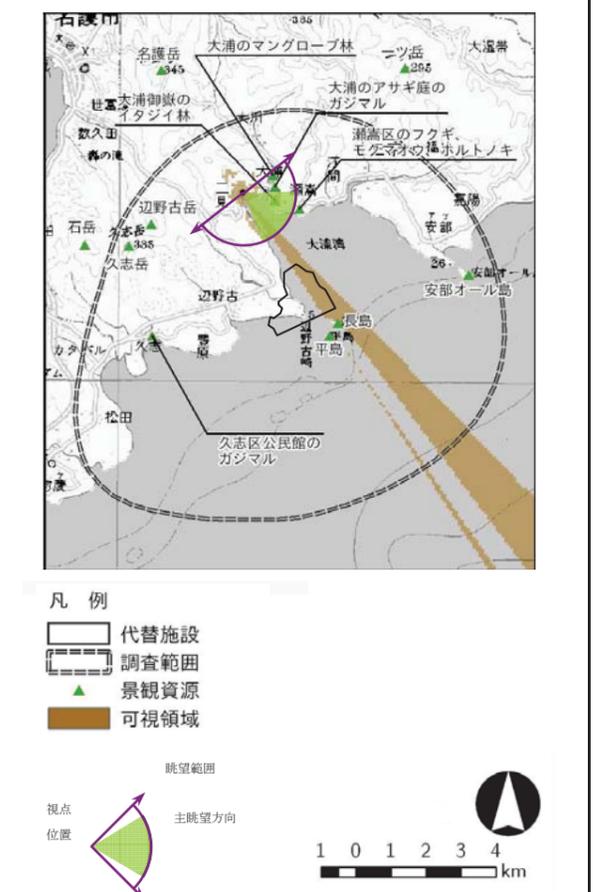
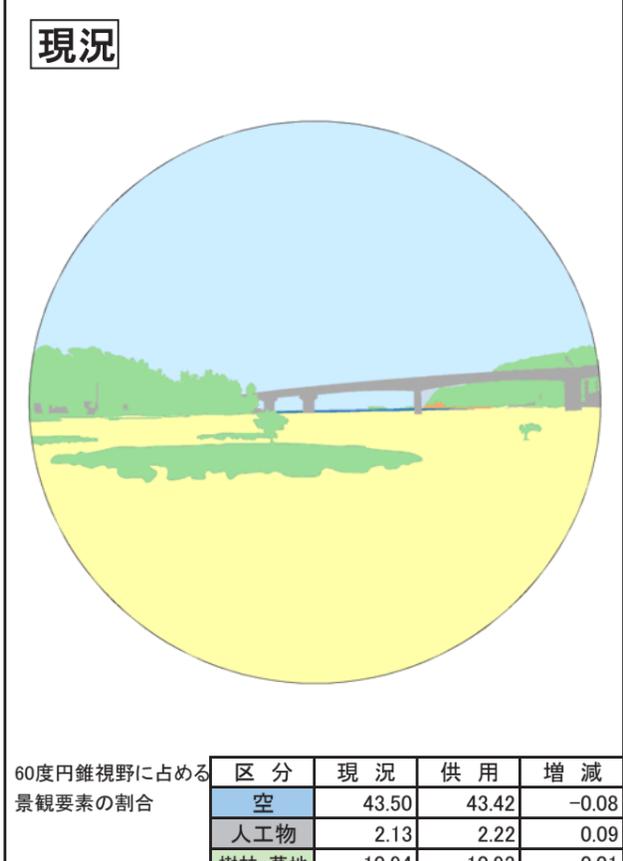
供用



本地点は瀬高区集落南部、国道331号からすぐの海岸に位置しています。南南西方向への眺望では、眼前一面に大浦湾が広がり、手前に海成段丘(サンゴ礁段丘)の岩礁、右手には辺野古崎一帯の半島、水平線上に平島と長島を眺望でき、キャンプ・シュワブのキャンプ地区・弾薬庫地区・演習場地区の東側が望めます。

供用後は、代替施設が平島・長島のすぐ右手に眺望されることとなり、護岸及び進入灯により平島・長島への眺望は一部が遮られますが、島嶼群全体が視認できなくなることはありません。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.43%の増加となりますが、代替施設までの距離は約1.6km、護岸への仰角は約0.04°で圧迫感はなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

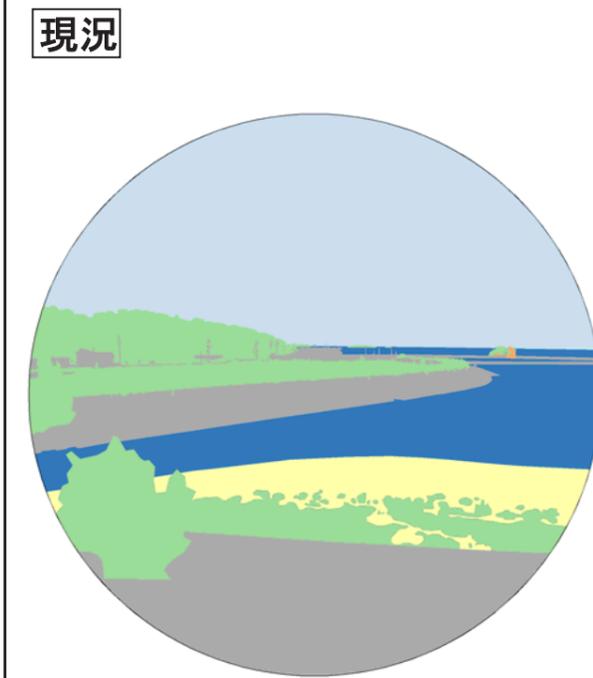
図-6.20.2.2.8 瀬高の浜からの眺望景観の変化



本地点は二見区集落(北側)の南部に位置し、国道331号に隣接する公園のすぐ下の干潟上に位置しています。南東方向への眺望では眼前に楚久川河口の干潟が広がり、視野両端には山林、水平線上には平島と長島を眺望できます。キャンプ・シュワブ自体は見えません。

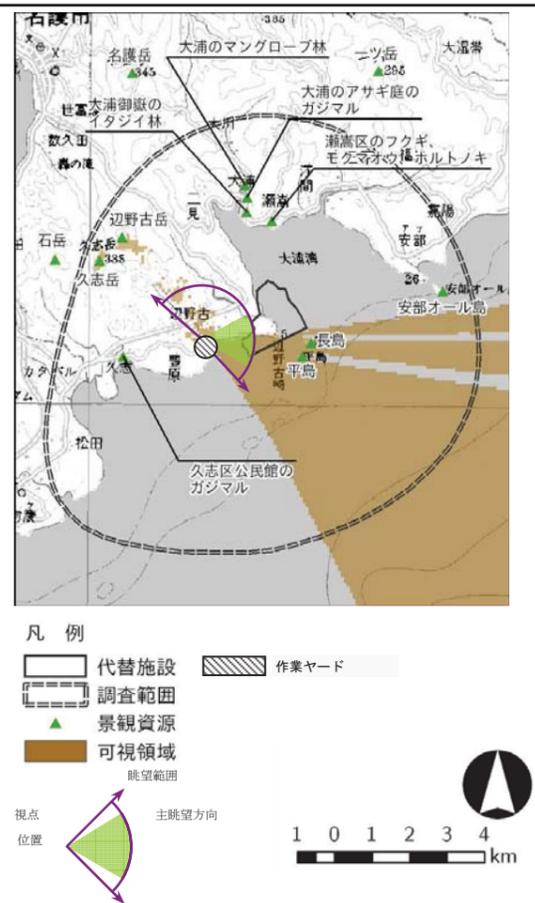
供用後は、代替施設が長島のすぐ右手に眺望されることとなり、護岸及び進入灯により平島・長島への眺望は遮られますが、右手の山林(海成段丘)の稜線を超える高さではなく、距離が離れており視認量がわずかであることなどから違和感が生じることはありません。60°円錐視野内の景観構成要素については人工物が0.09%の増加となりますが、代替施設までの距離は約2.5km、護岸への仰角は約0.2°で圧迫感はなく、現況における眺望状況との大きな違いはないものと考えられます。

図-6.20.2.2.9 楚久川河口からの眺望景観の変化



60度円錐視野に占める  
景観要素の割合

区分	現況	供用	増減
空	36.34	36.21	-0.13
人工物	24.24	26.07	1.83
樹林・草地	19.43	31.11	11.68
岩場・裸地	0.04	0.03	-0.01
砂浜	7.15	0.05	-7.10
海面	12.8	6.53	-6.27
合計	100.00	100.00	-



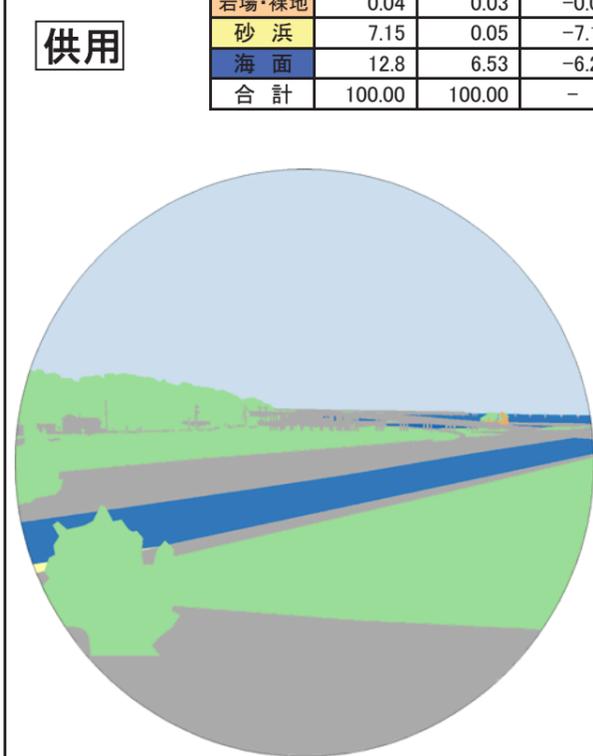
凡例

- 代替施設
- 調査範囲
- 景観資源
- 可視領域
- 眺望範囲
- 作業ヤード

視点位置

主眺望方向

1 0 1 2 3 4 km



本地点は辺野古区中心部の南部、県道13号線近くの辺野古前上原公園内の高台に位置しています。東方向への眺望では、手前に辺野古川河口部と河川敷が、その先左手には辺野古集落と山林が、右手には辺野古漁港と神社が望め、奥に太平洋を、水平線上に平島と長島を眺望できます。キャンプ・シュワブ自体は見えません。

供用後は、代替施設が平島・長島の手前に眺望されることとなり、護岸により平島・長島への眺望は遮られます。代替施設までの距離は約1.0km、護岸への俯角は約0.1°で目につきやすいということはありませんが、工事用仮設道路が視野を横切るように眺望されること、作業ヤード跡地が手前すぐ眼下の河川敷から神社手前まで視野いっぱいに見え、眺望されることとなり、60°円錐視野内の景観構成要素については草地在11.68%、人工物が1.83%の増加となります。事業実施により以上のような眺めの変化が生じることとなります。

図-6.20.2.2.10 辺野古前上原公園からの眺望景観の変化